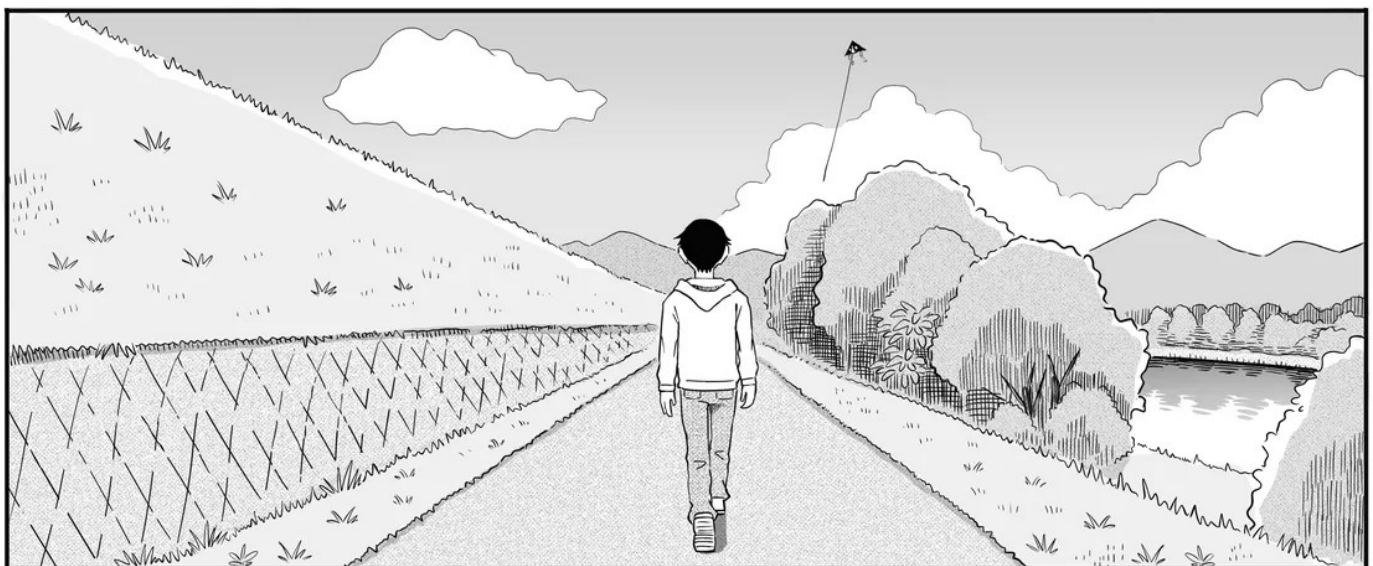
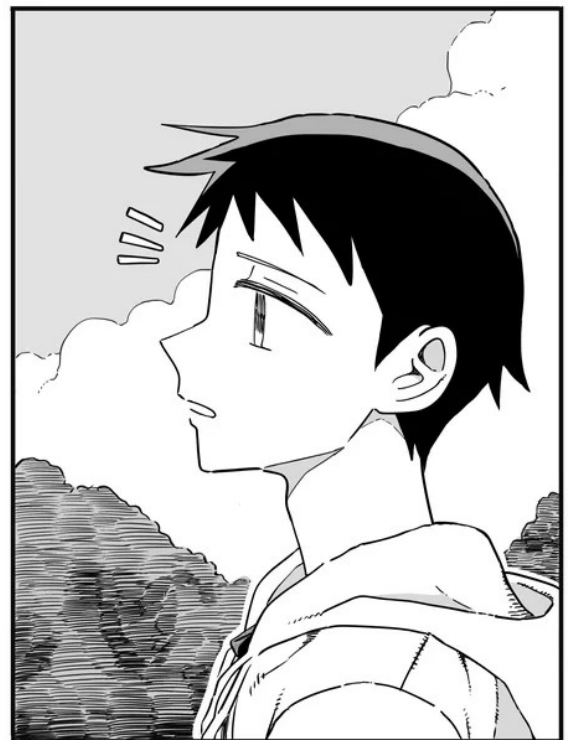
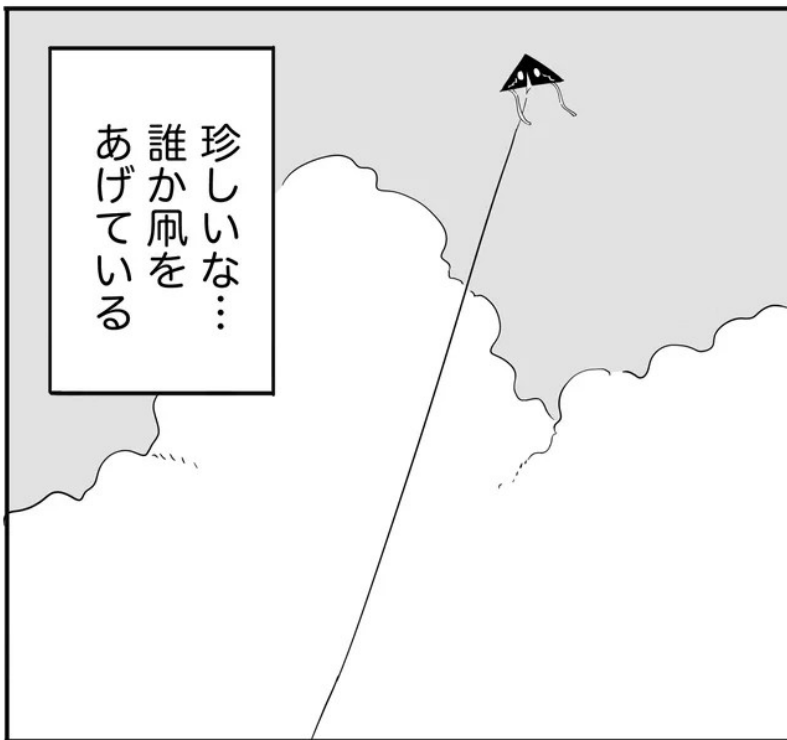


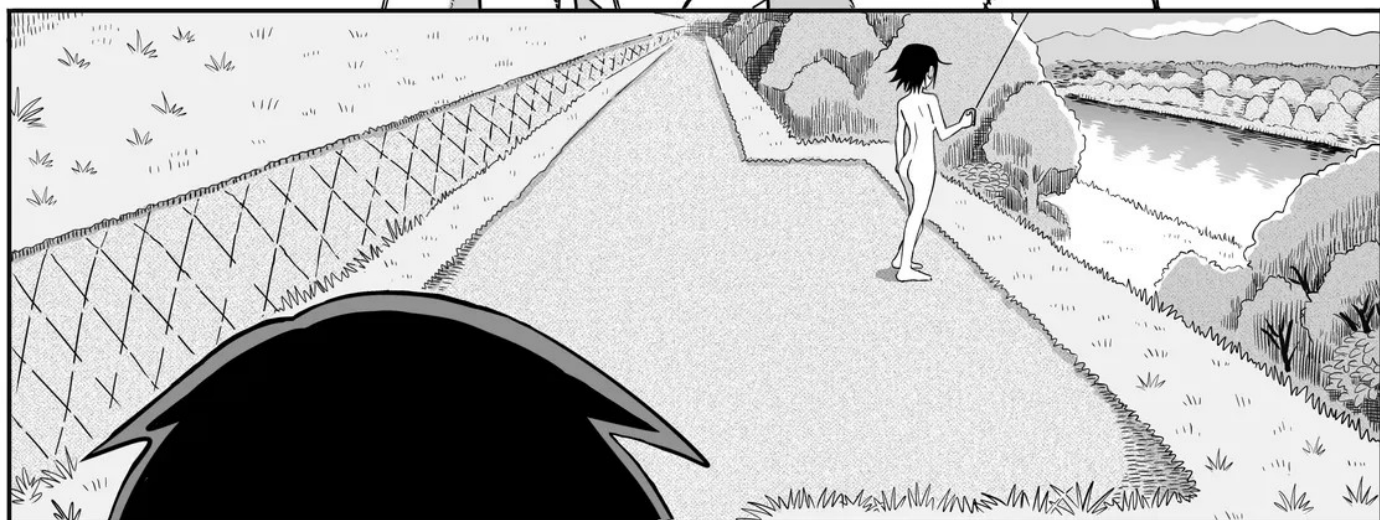
風

沼田水園





それは
白昼夢の
ようだった



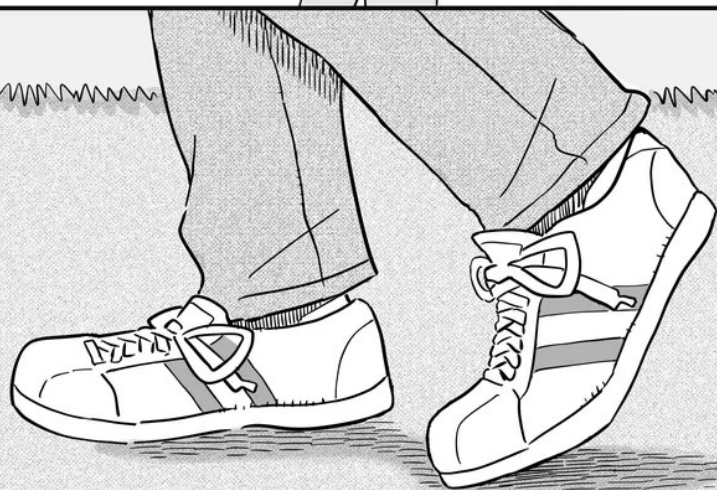
秋の
日差しの中

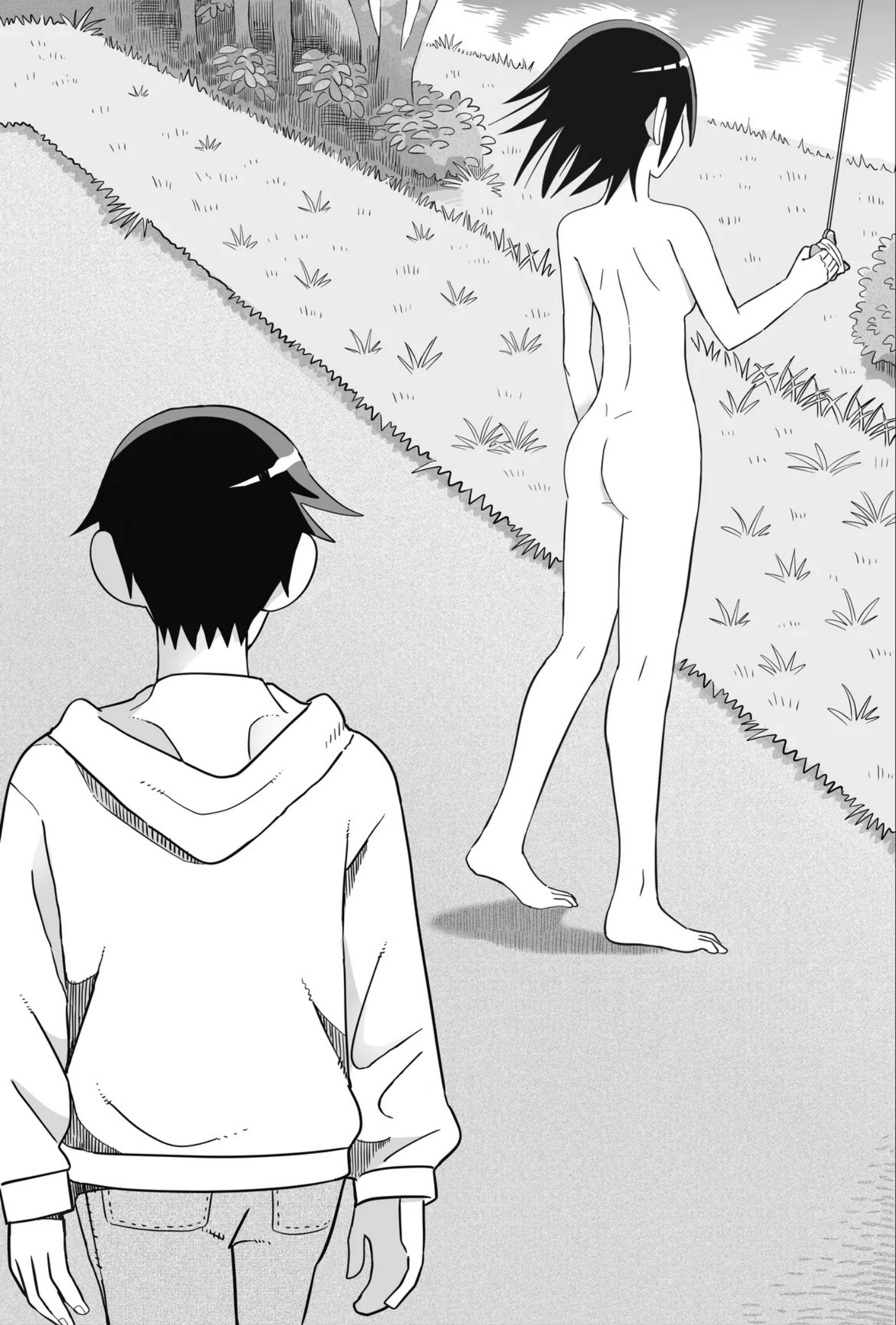
裸の女が
風を上げ
ている…



関わってはいけない
という思いと
関わりたいという思い

それらが
せめぎ合いつつ
僕は足を進めた…





近くで見ても
完全な裸だ…

変質者？
何かの撮影…？

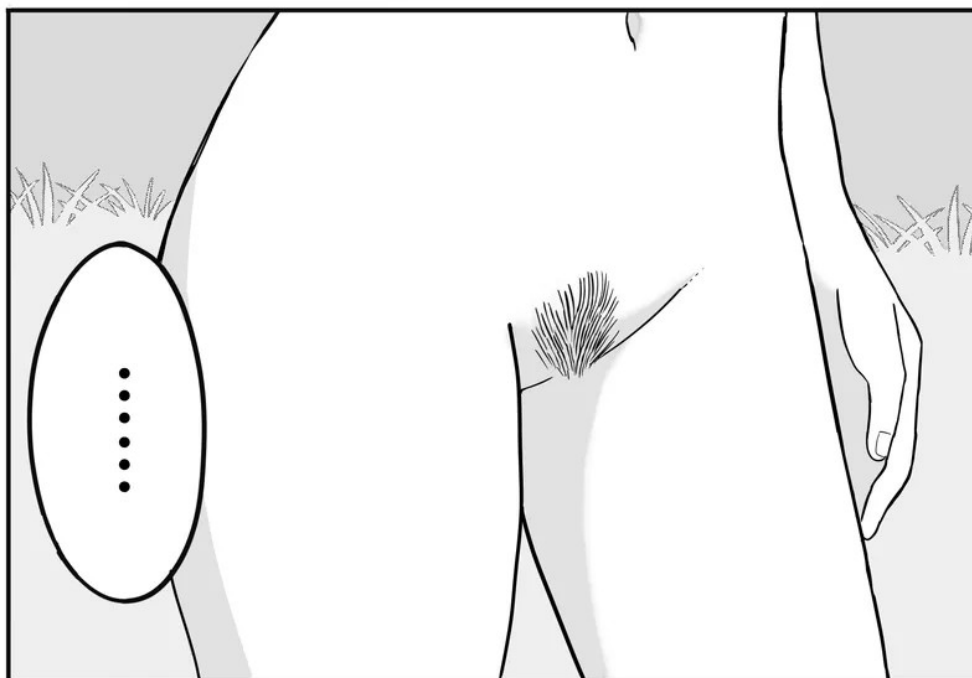
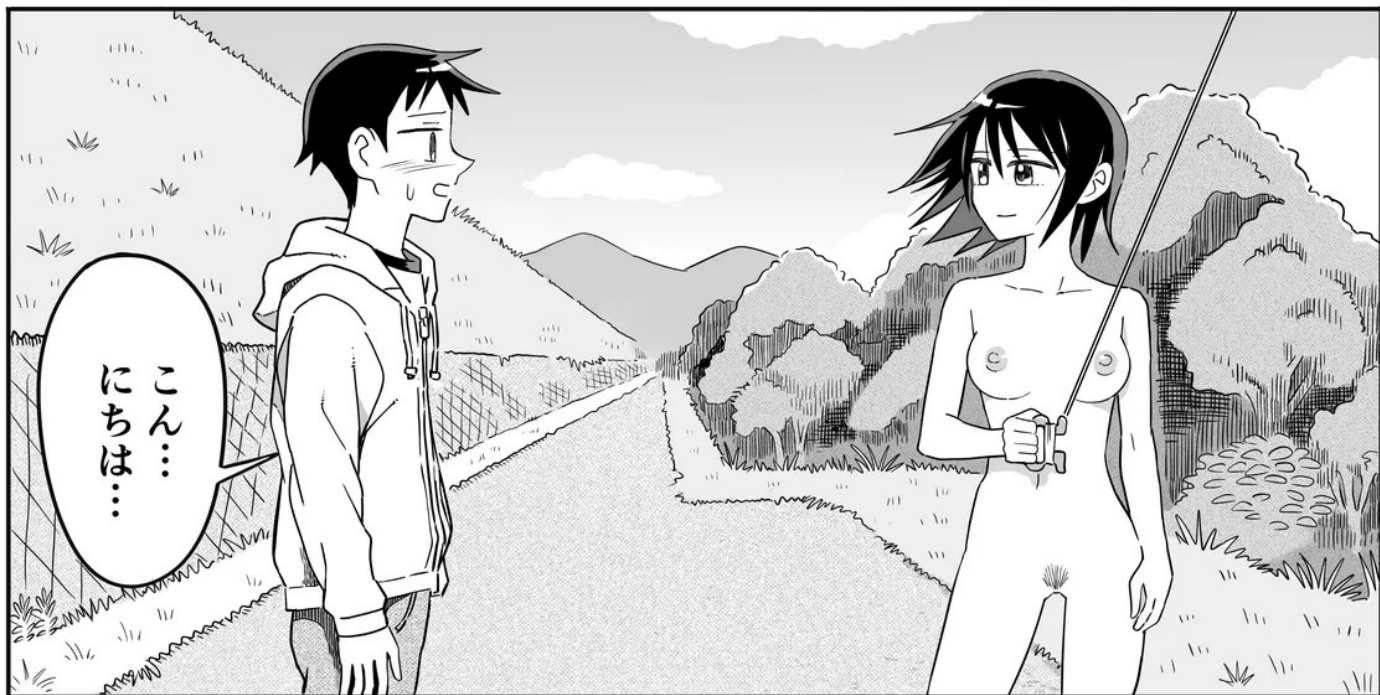
もしやドッキリが
仕掛けられて
いたりなんて…

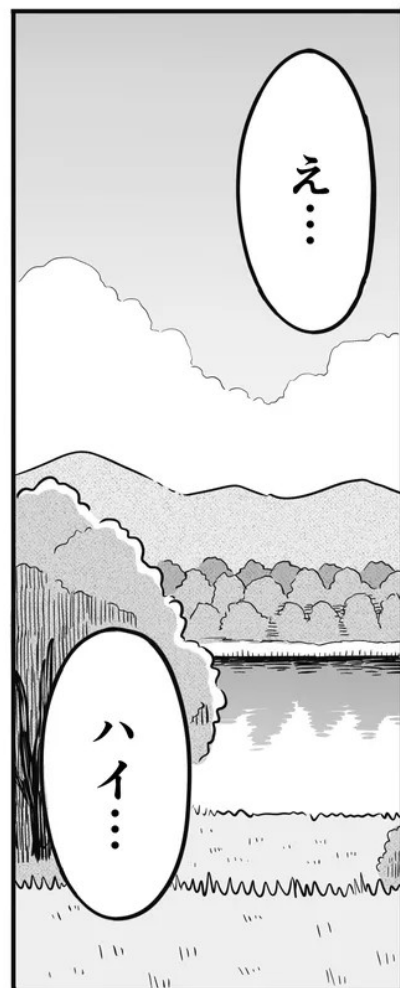
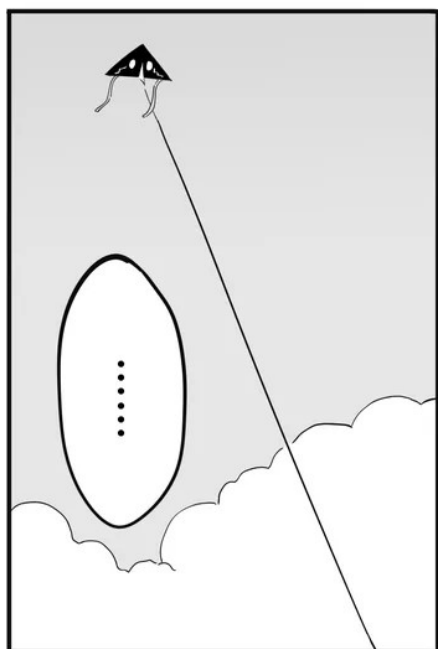
……

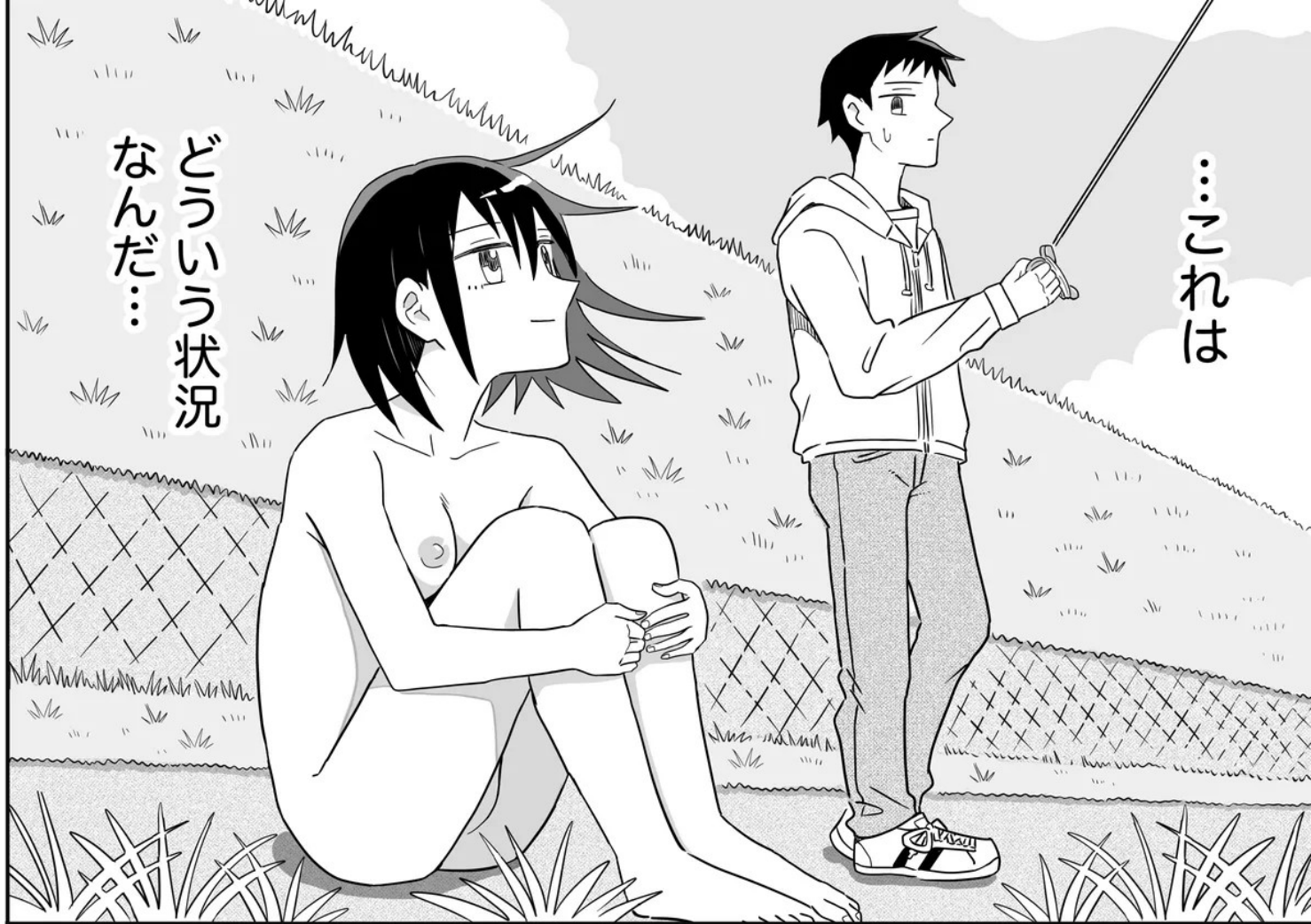
くる

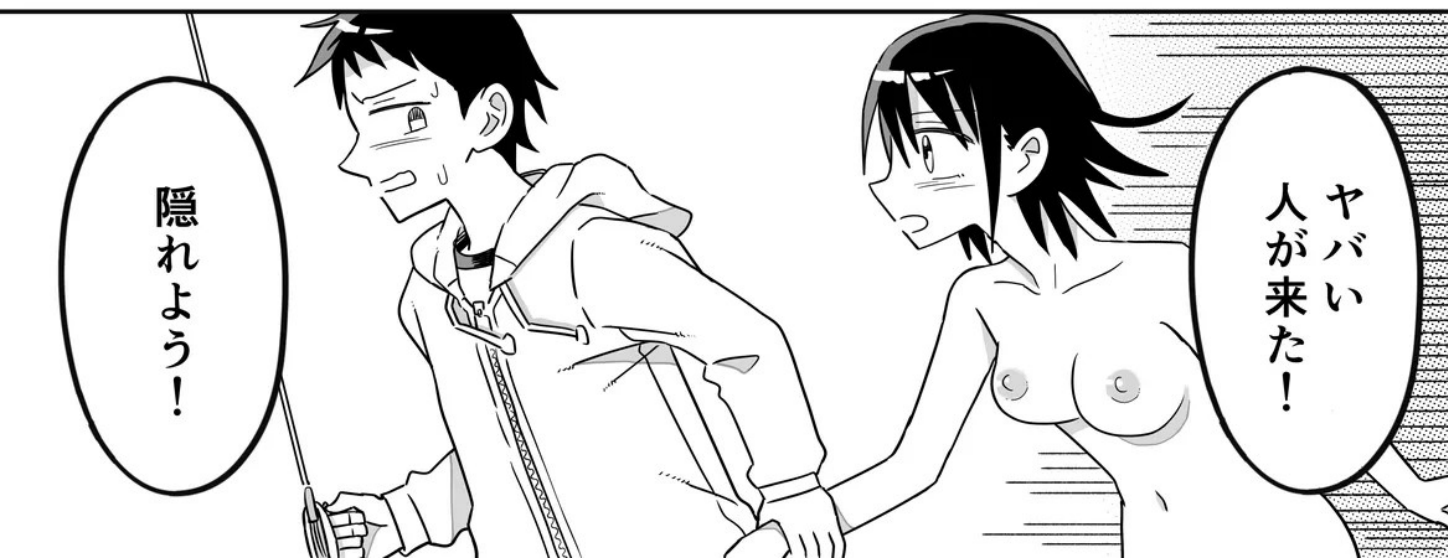
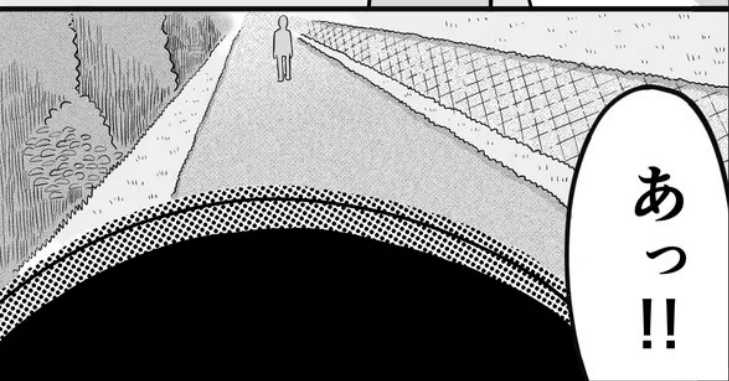


こんにちは











やっぱ危ないよ
こんな場所じゃ
なくて別な所で…

別な所で
エッチですか？

私たちの姿
他の人には
見えてませんよ

は…!?
別にそういう
訳では…

え？

さっき
なぜ私が裸
なのか聞いて
ましたが…

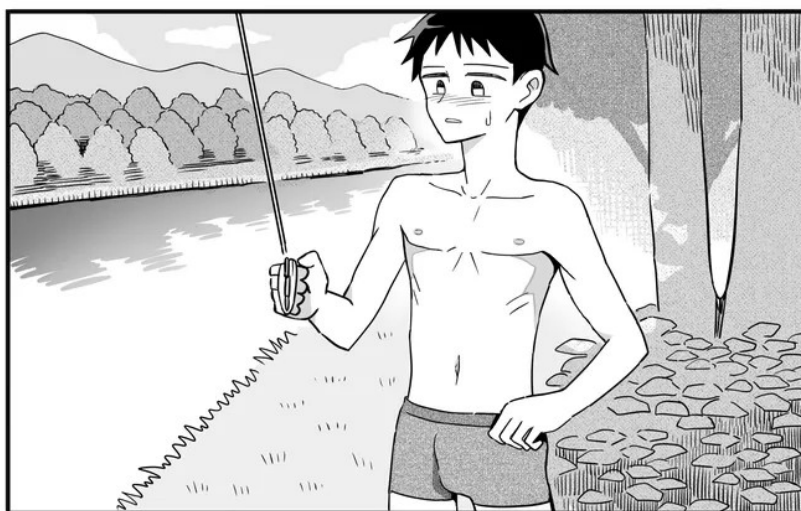
あなたこそ
なぜ裸にならない
のですか？

せつかく
透明な存在になって
いるんですよ？

この子は

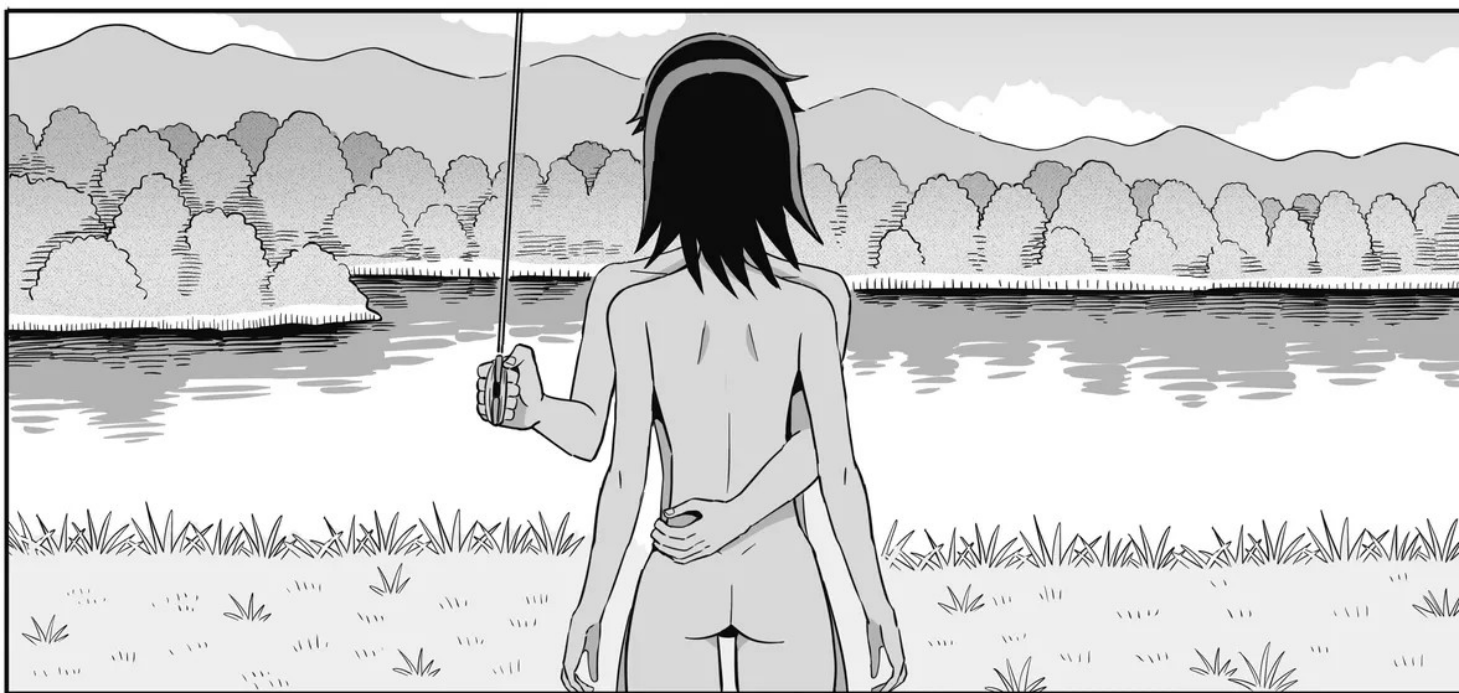
分かった
よ…

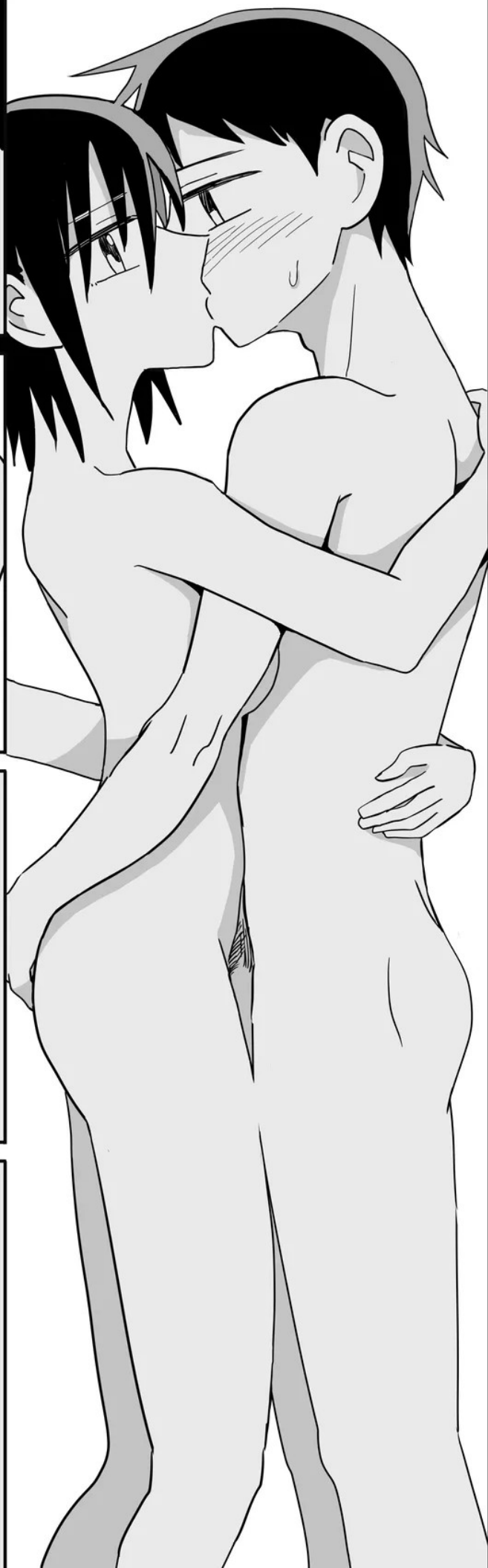
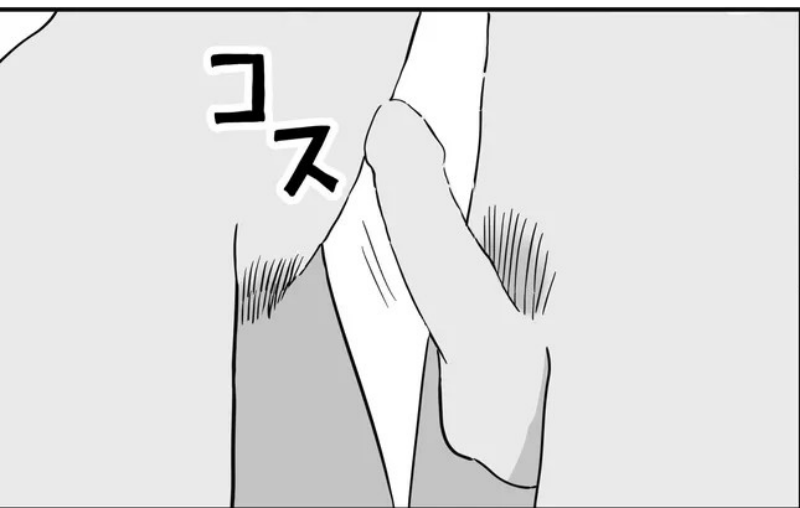
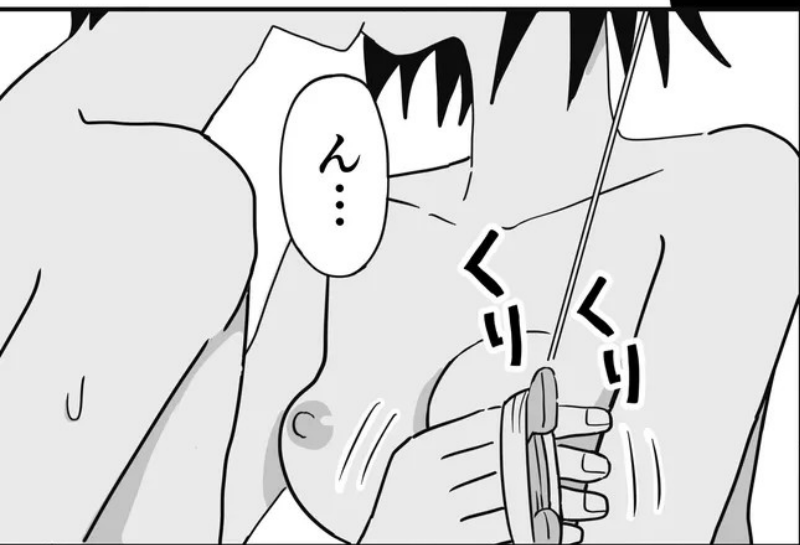
人間では
ないのかも
しれない

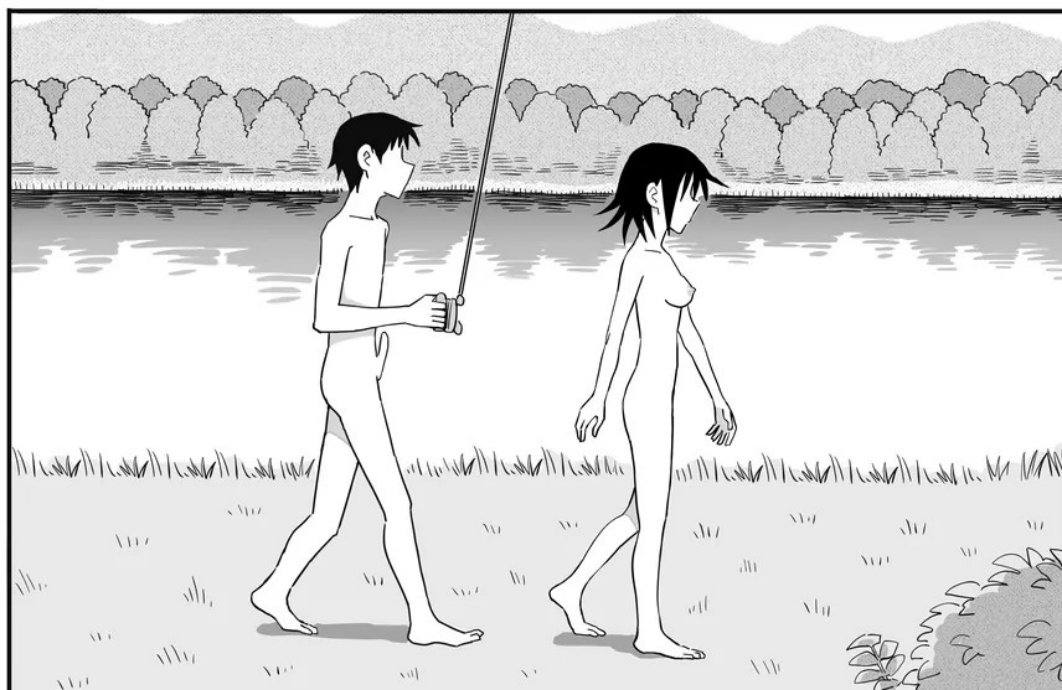


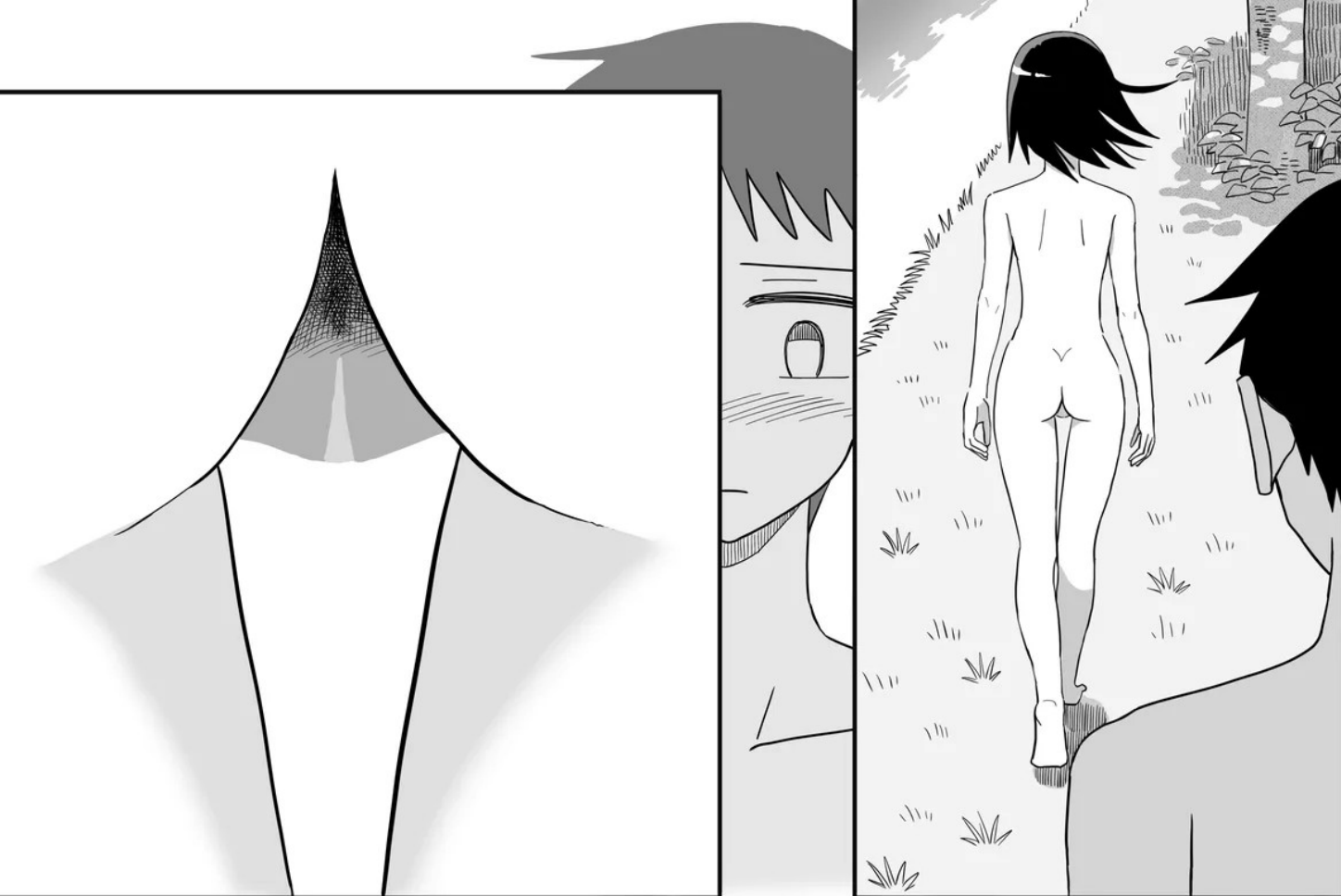


脱いだよ...



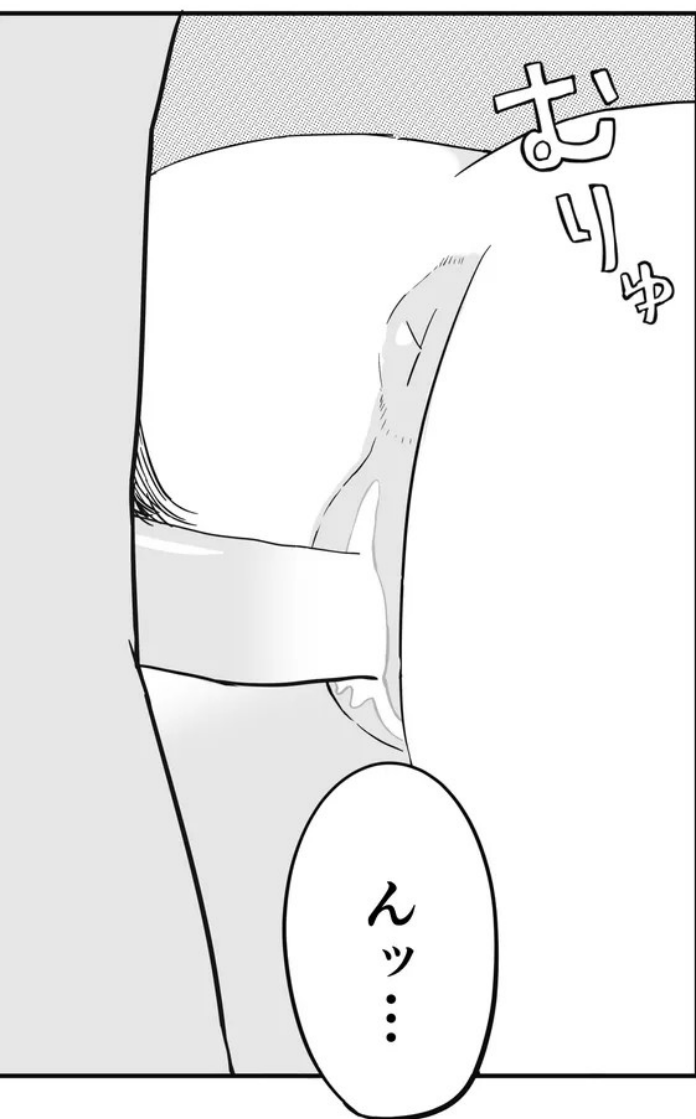
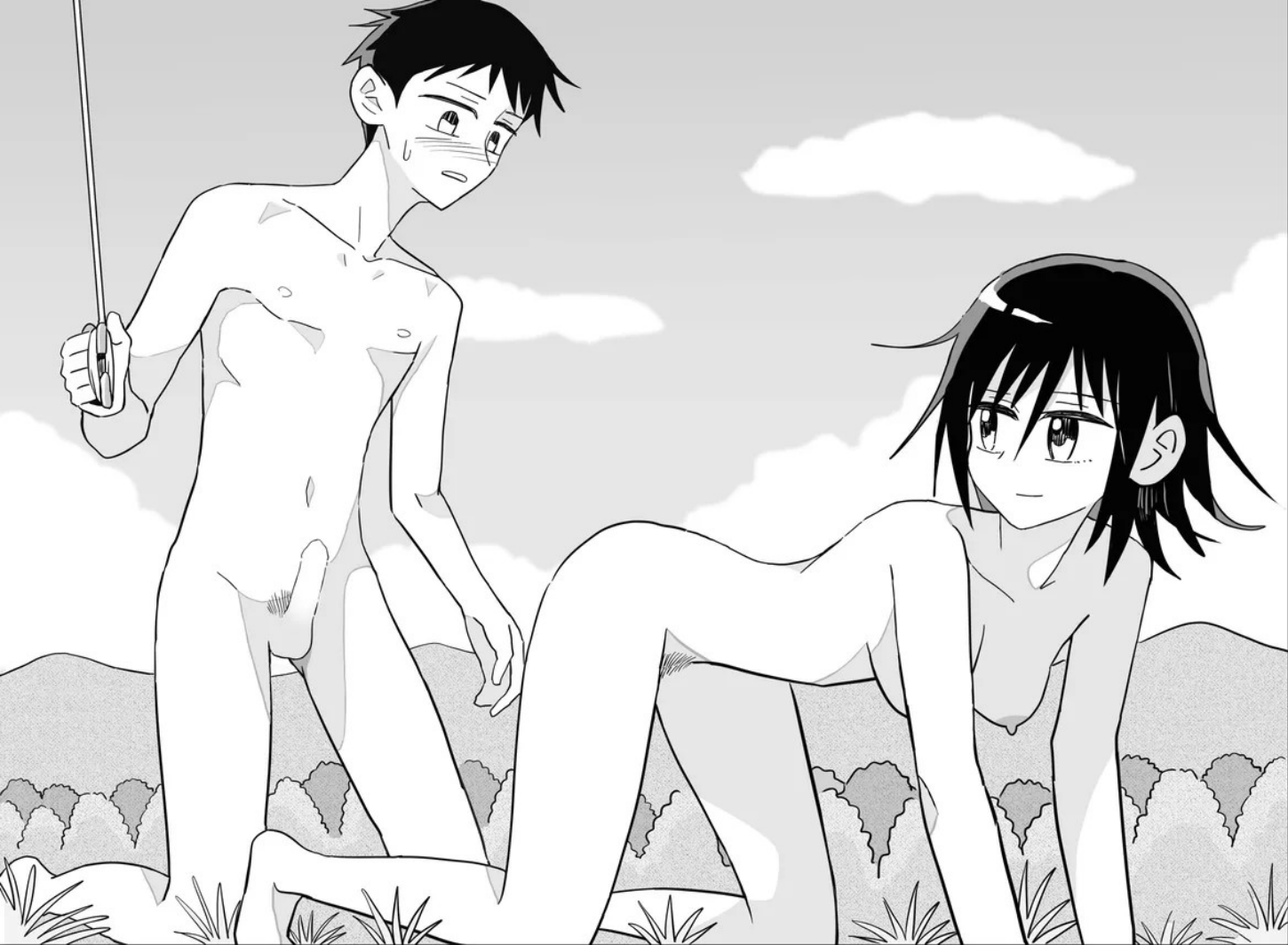








いいですよ



不思議だ…

ハア

ハア

まだ女の子と付き合った
こともないのに

さっき会った
ばかりの子と
こんなことしてる…

この光景を
心に焼き付けて
おきたい



やっぱり
アレなのかな

狐とかサキユバス
とかの類の…

じゃあいくよ…

いや
今は考えるのは
おそろ



あっ

ズ
ン

もう
こうなつて
しまったの
だから

あっ

あっ

あっ

…マズイ
これは…

一瞬で出る



……うっ



あれ…



ああ…もう
終わってしまう…



おかしい…
射精がずっと続くし
勃起も治らない

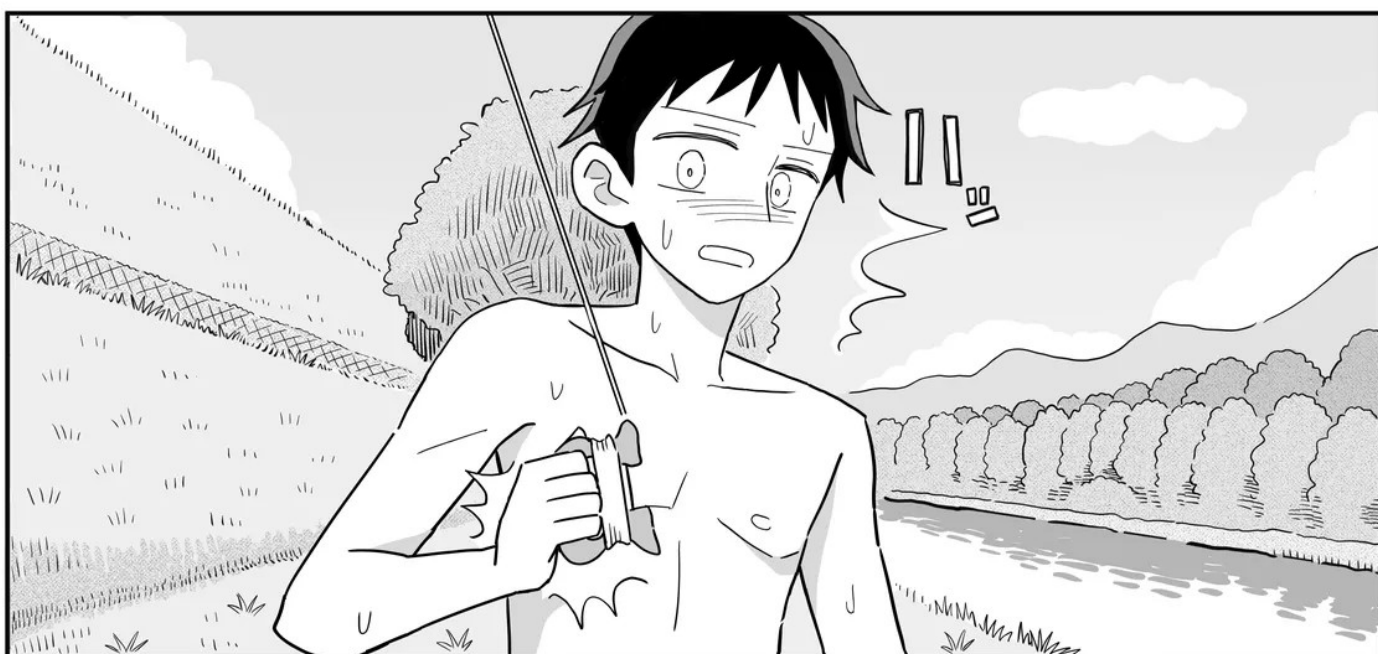
恐ろしいほどの
快感だが…

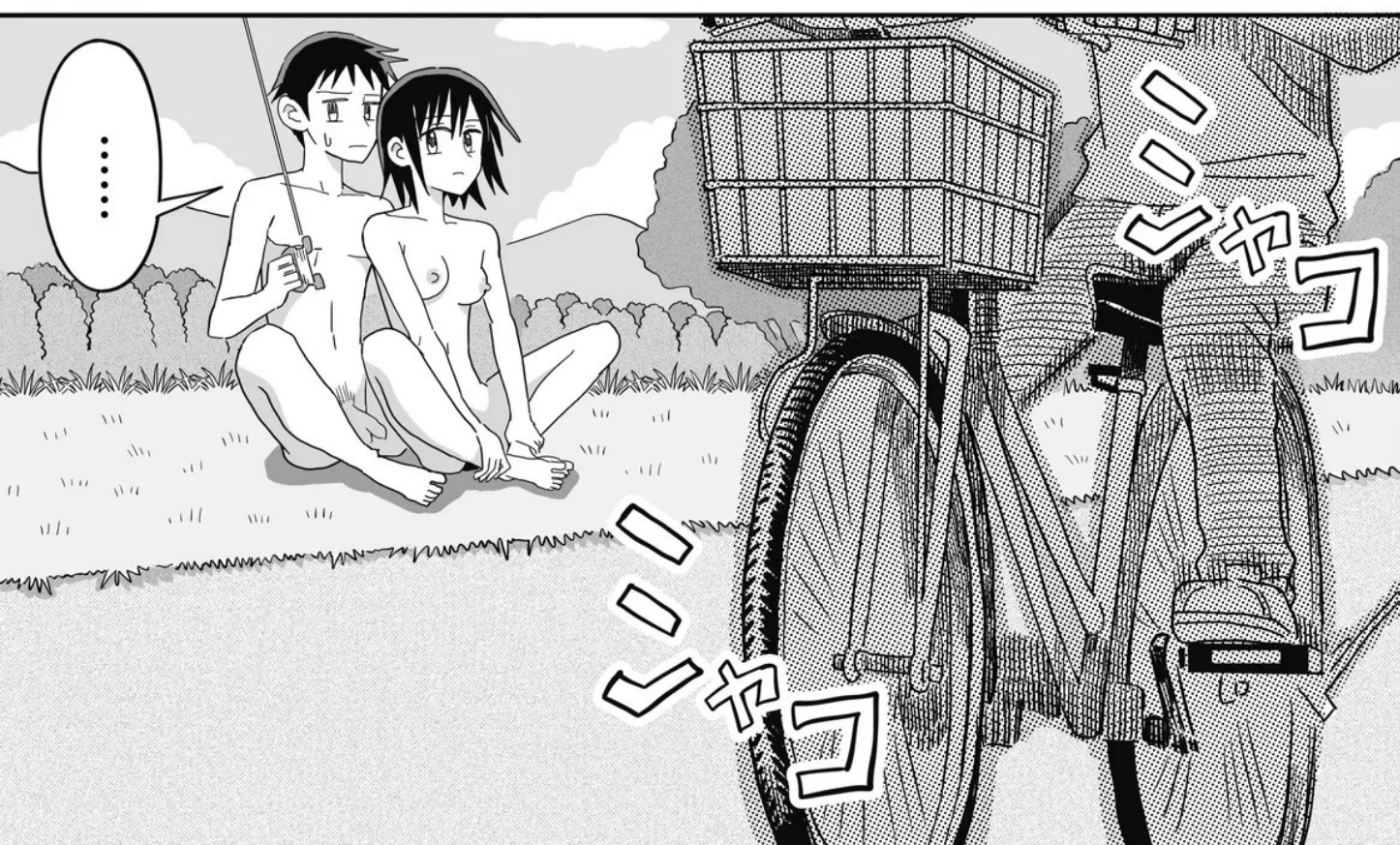
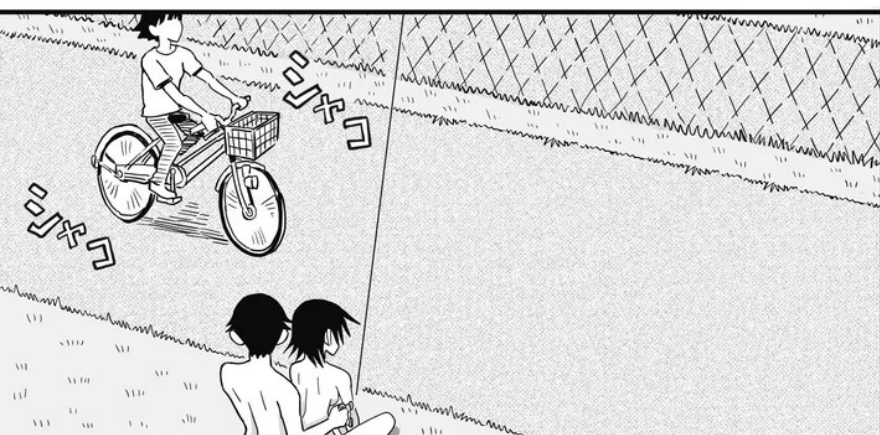
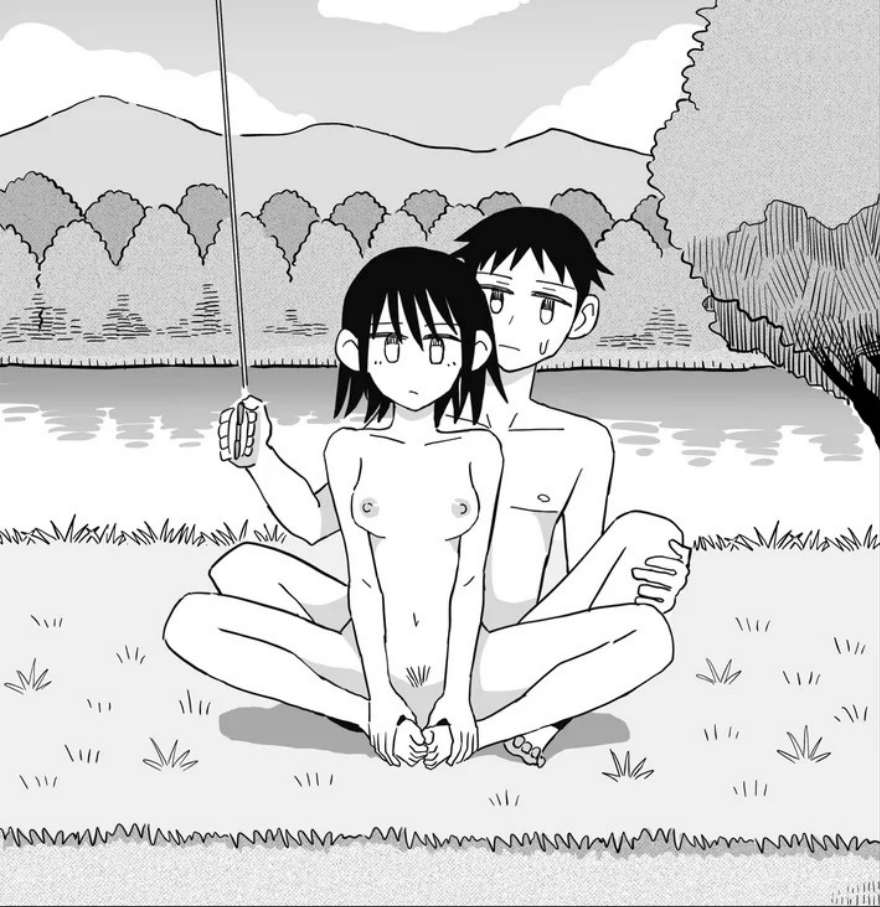


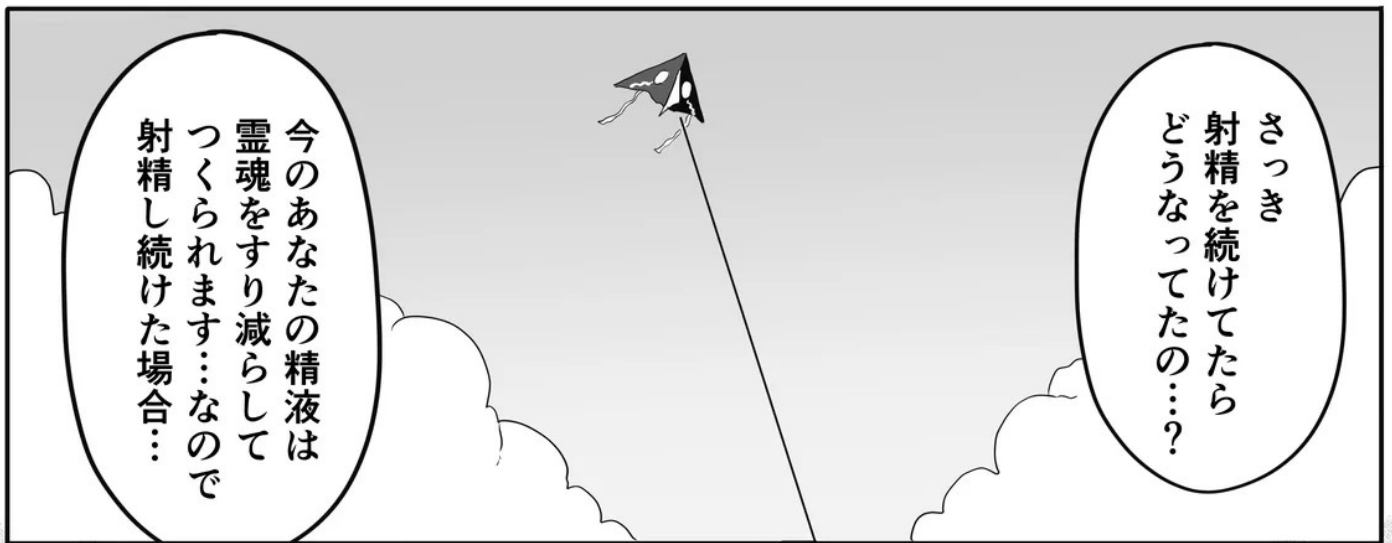
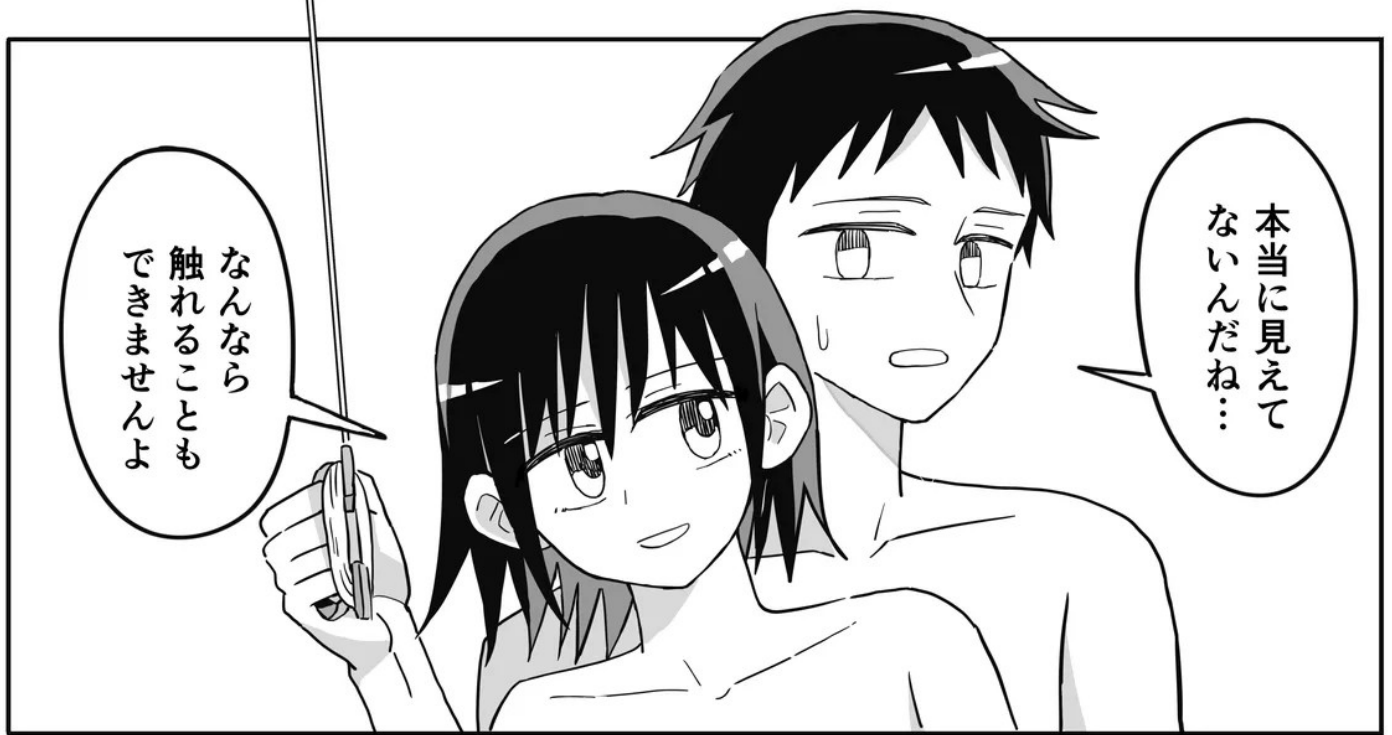
ゆる…

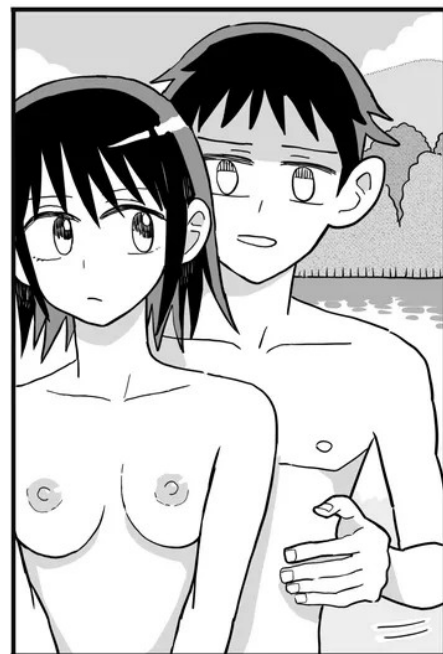


頭がクラクラ
してきた…







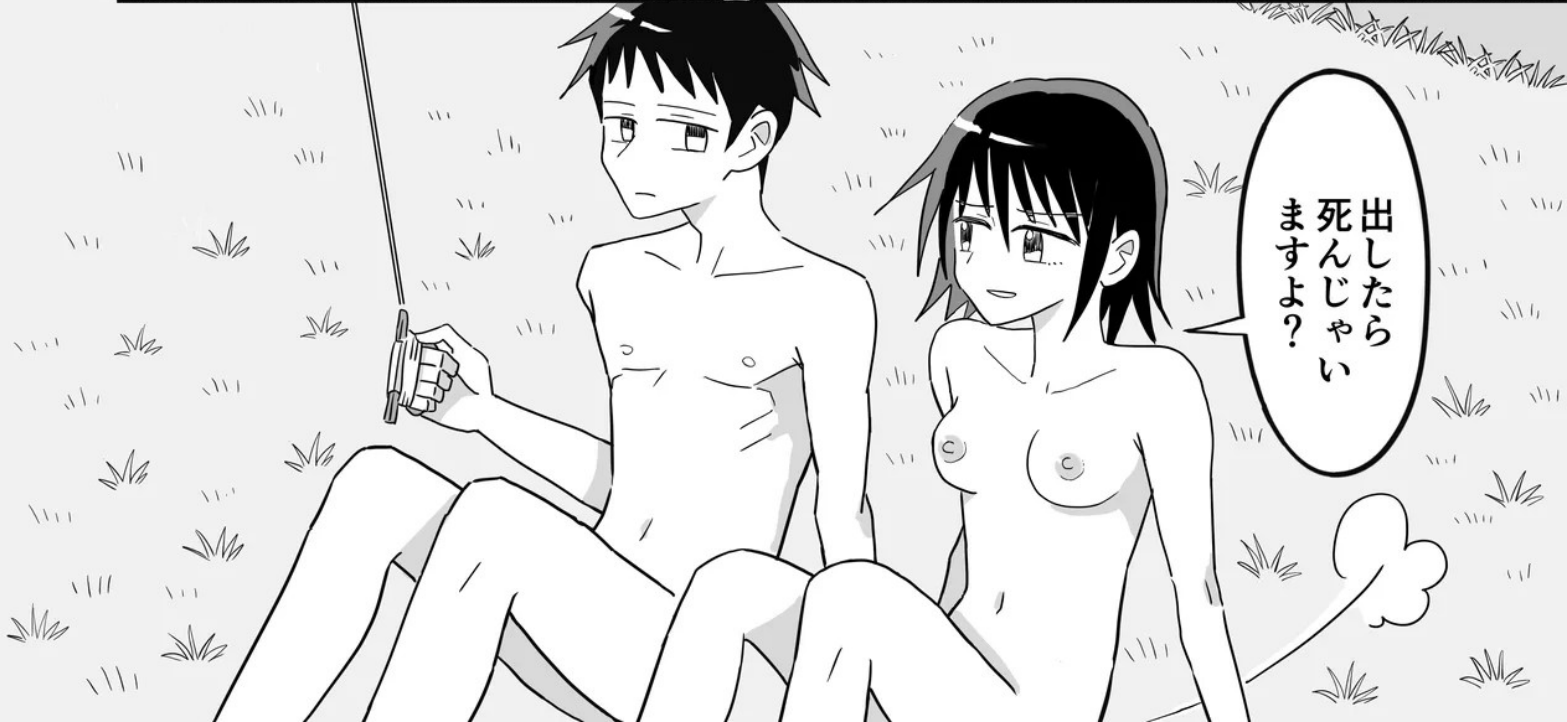
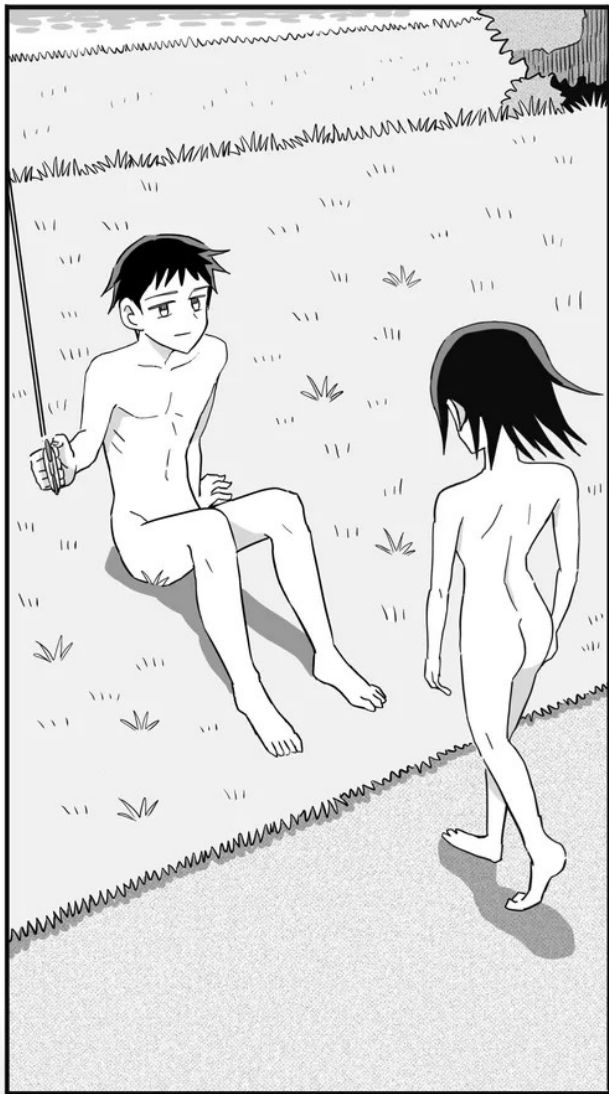




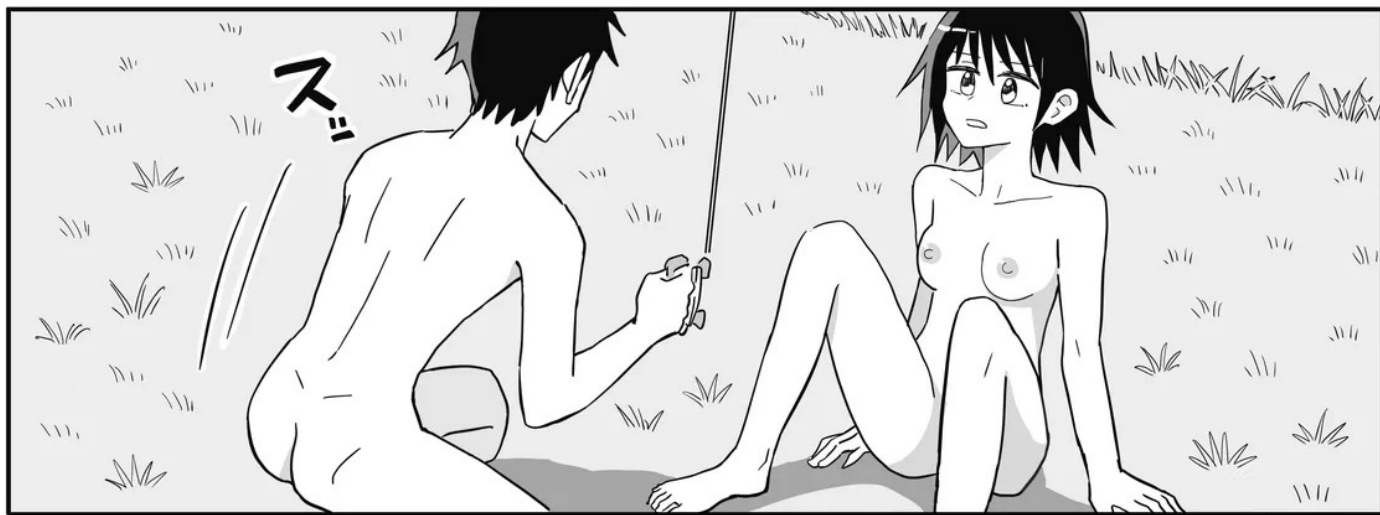


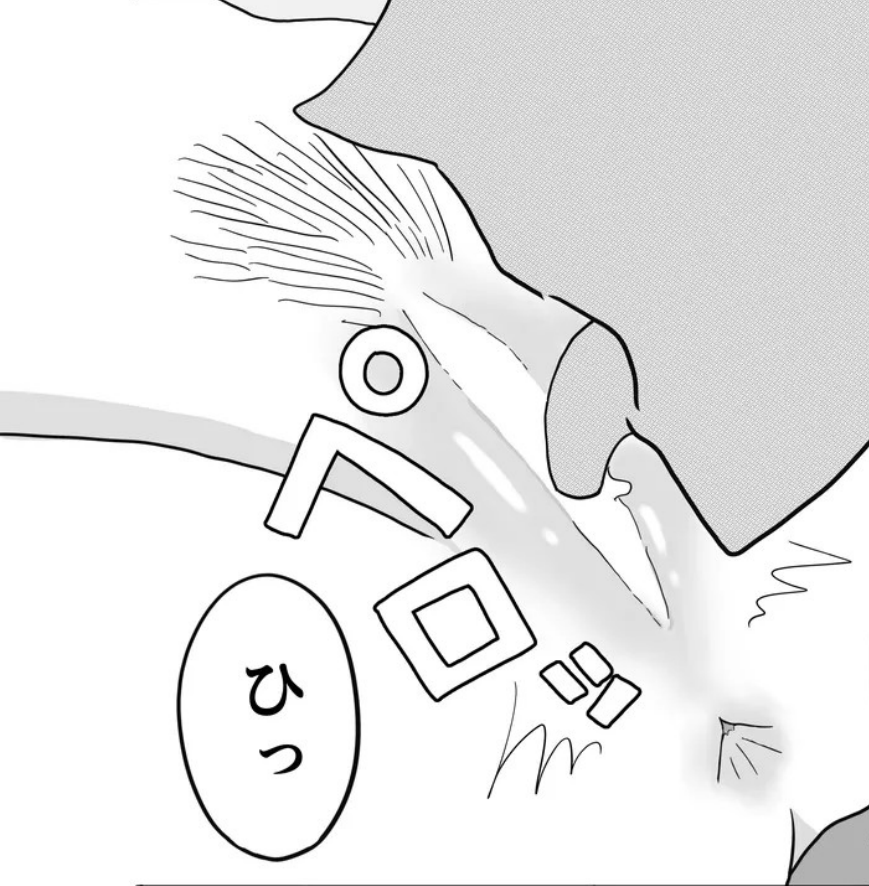


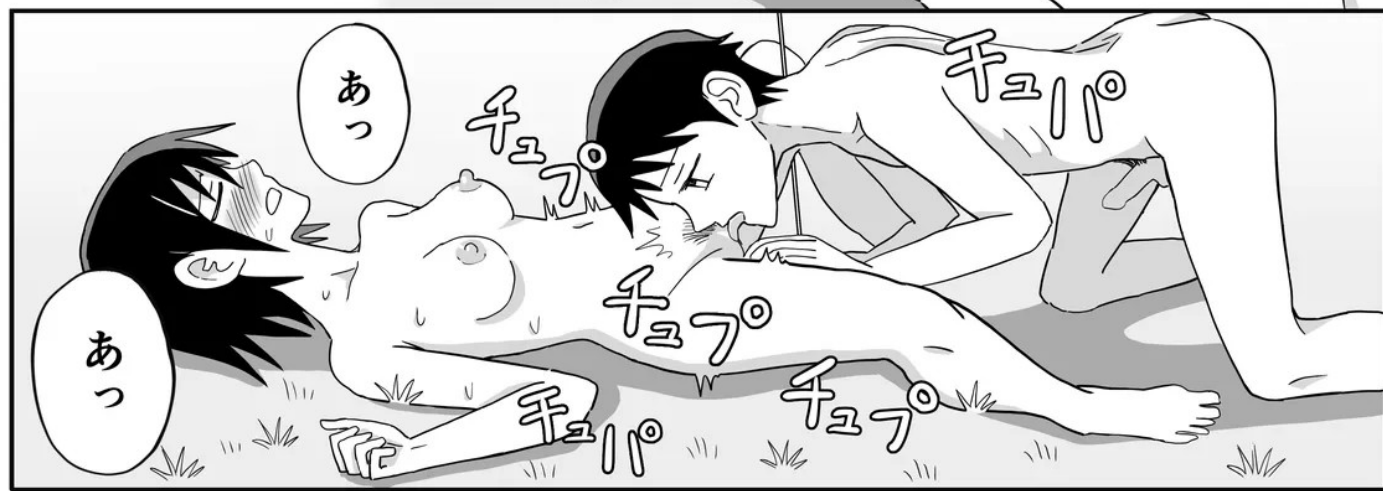
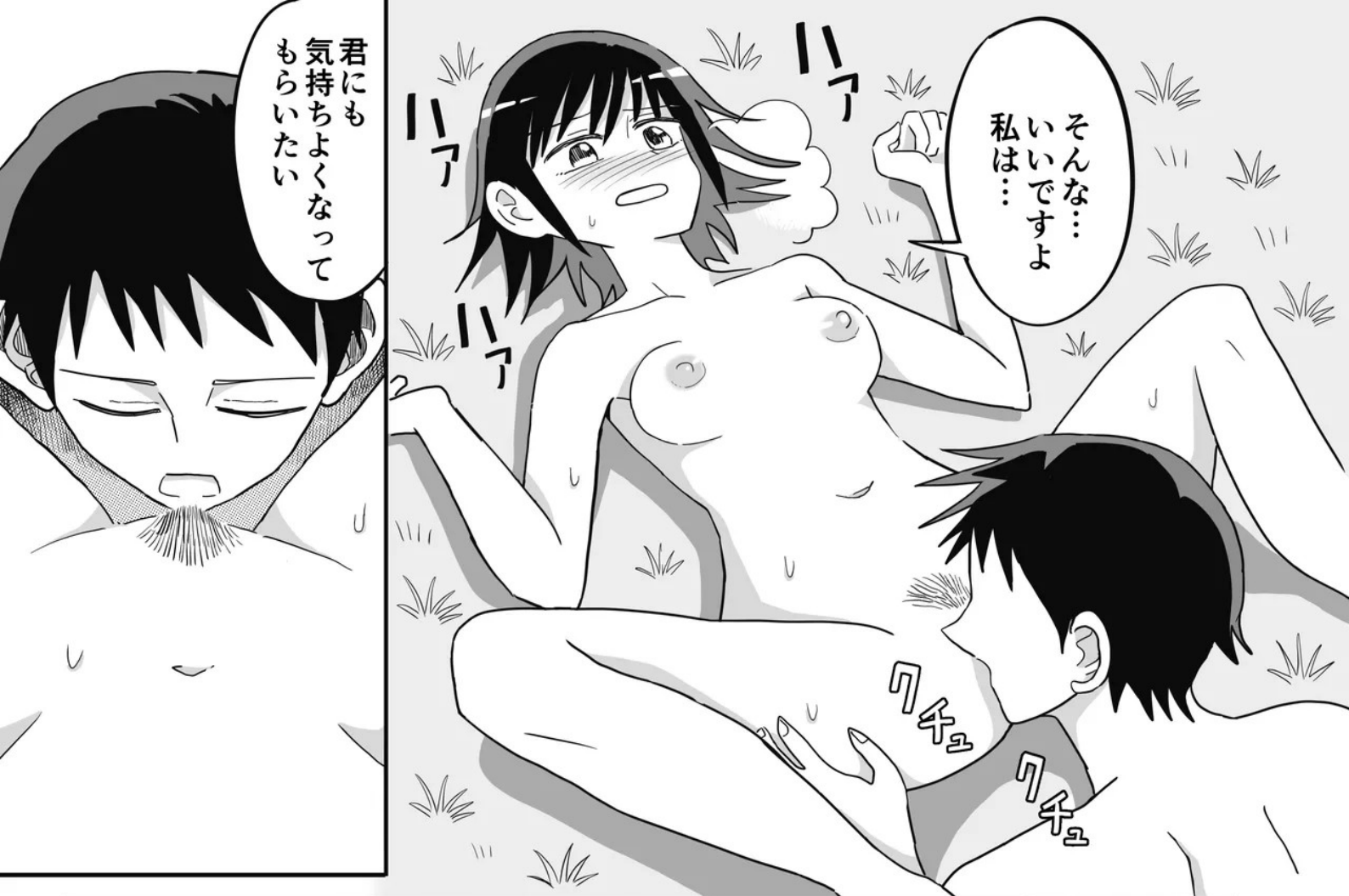
もっと
しょう

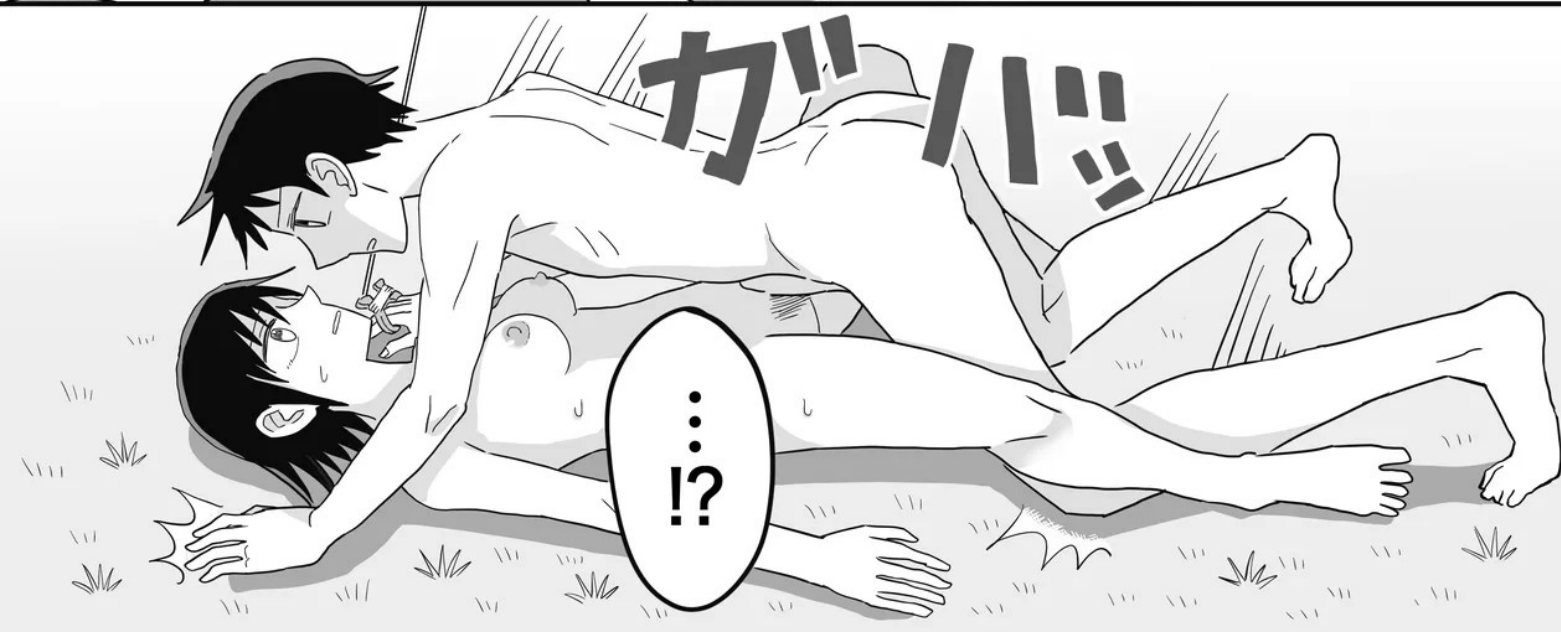


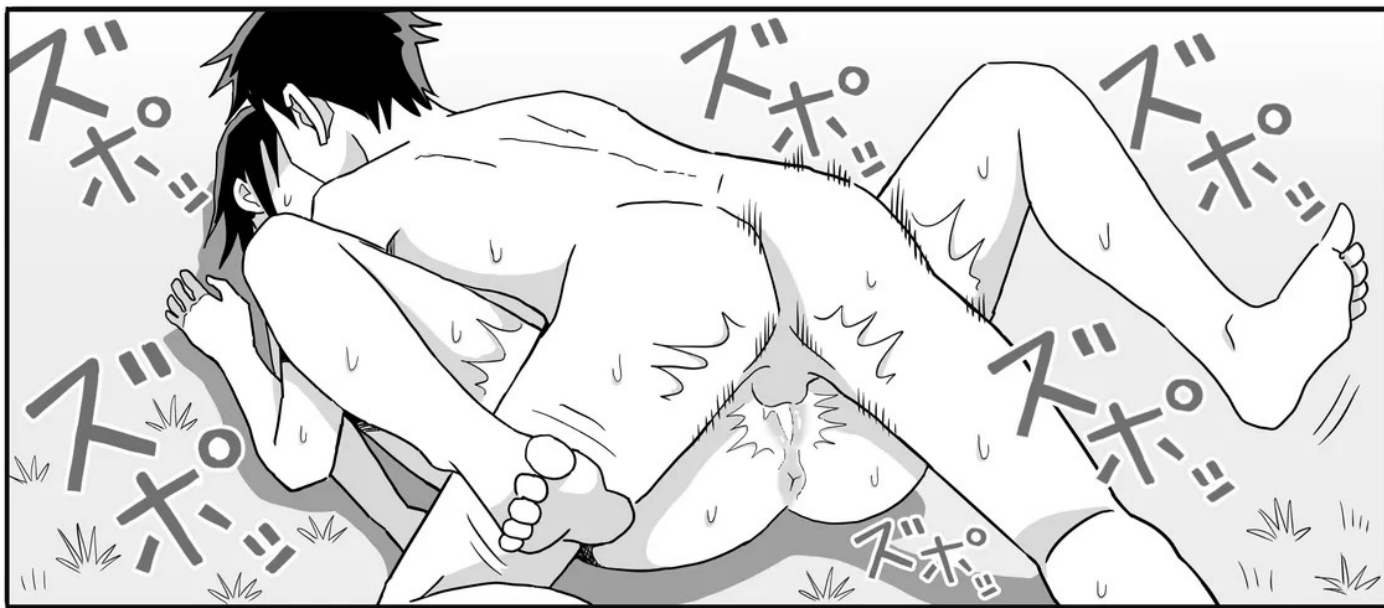
出したら
死んじゃい
ますよ?

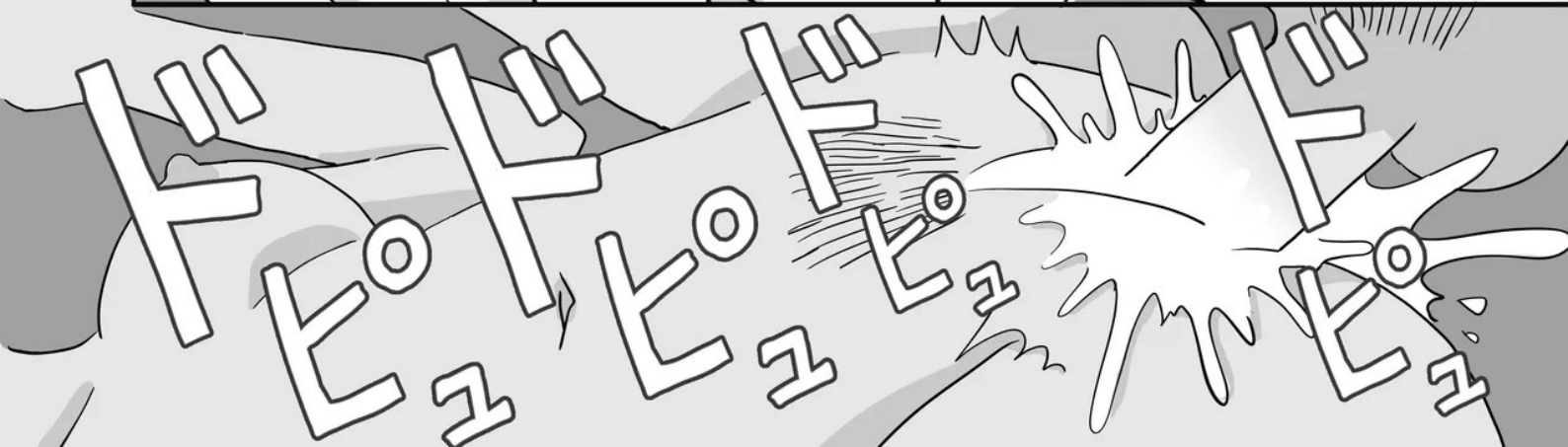
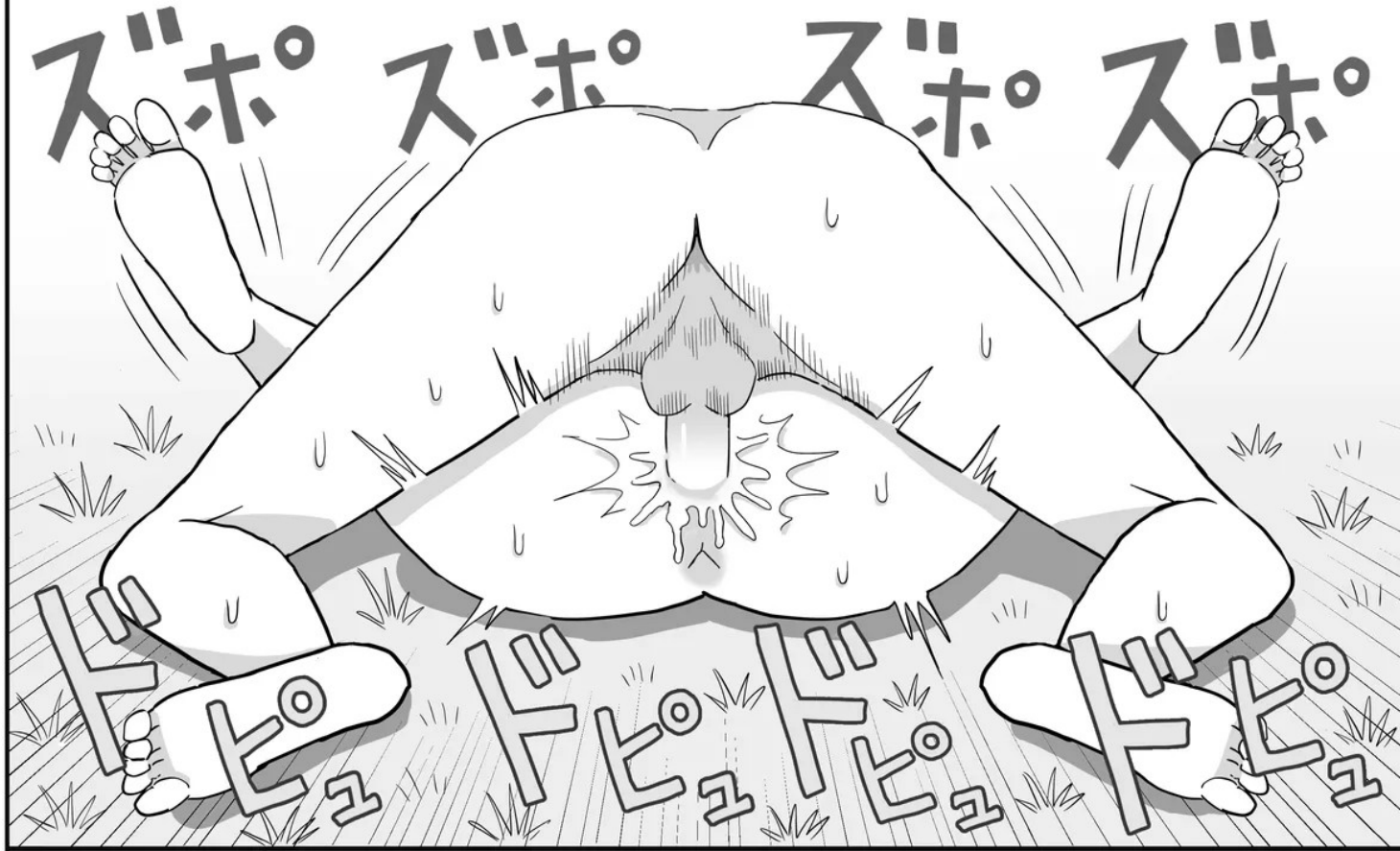


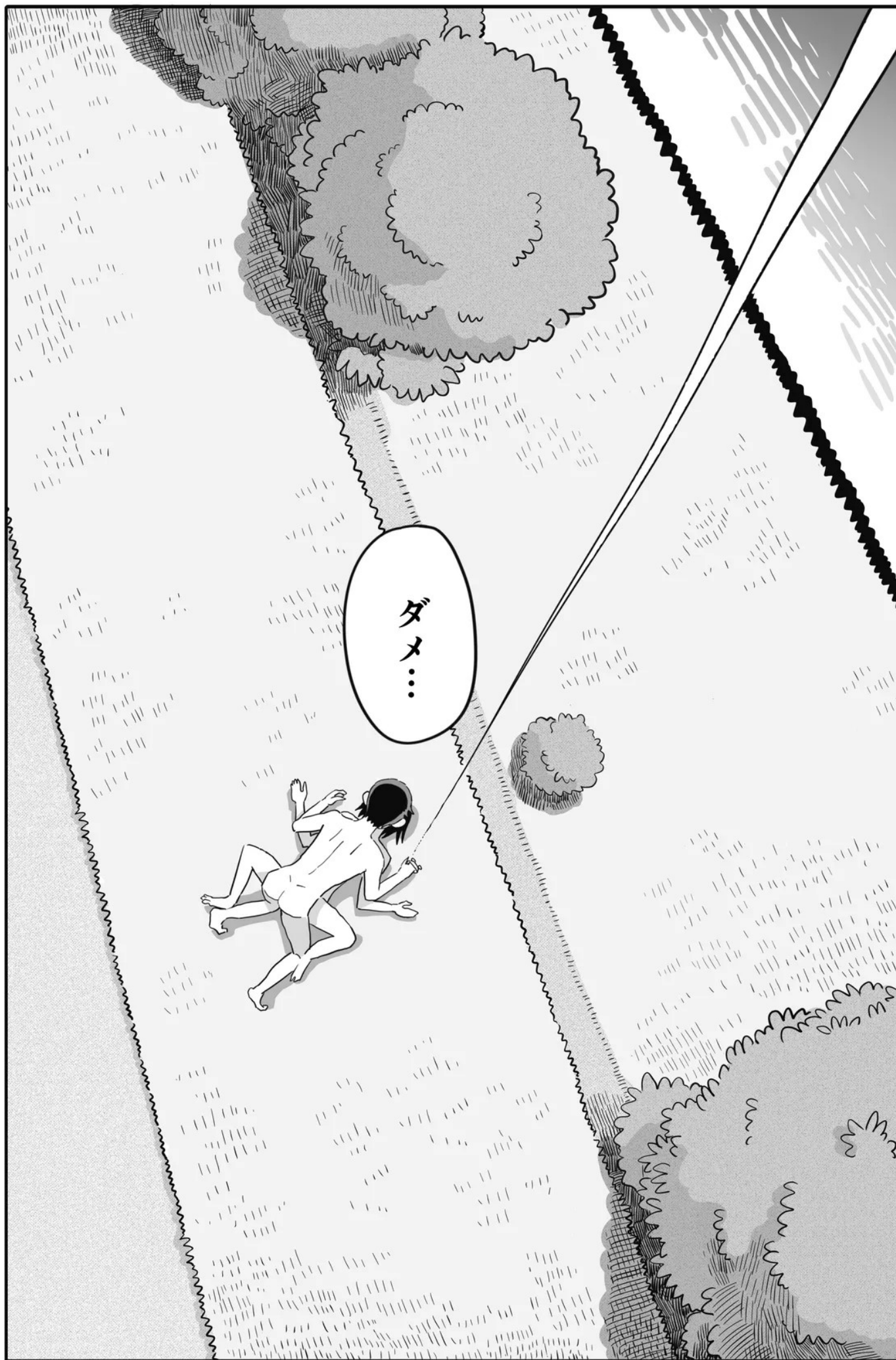






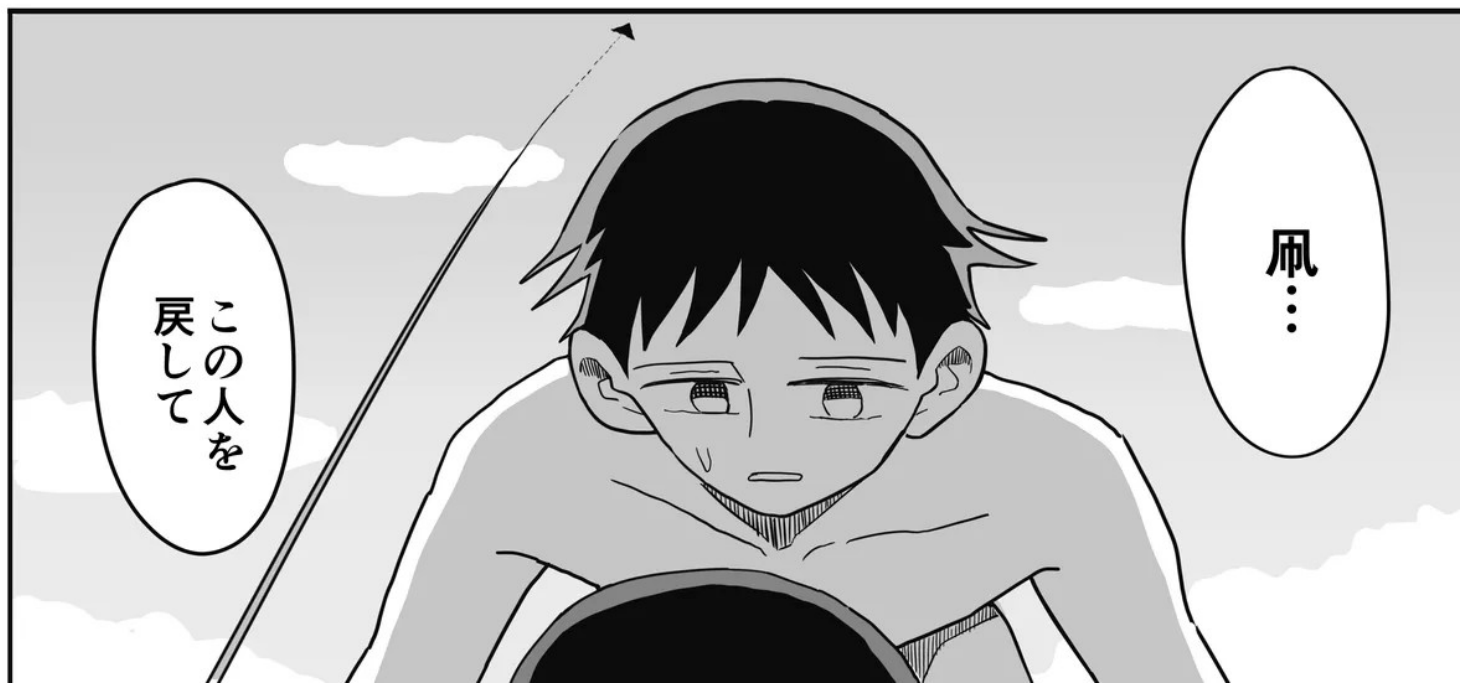






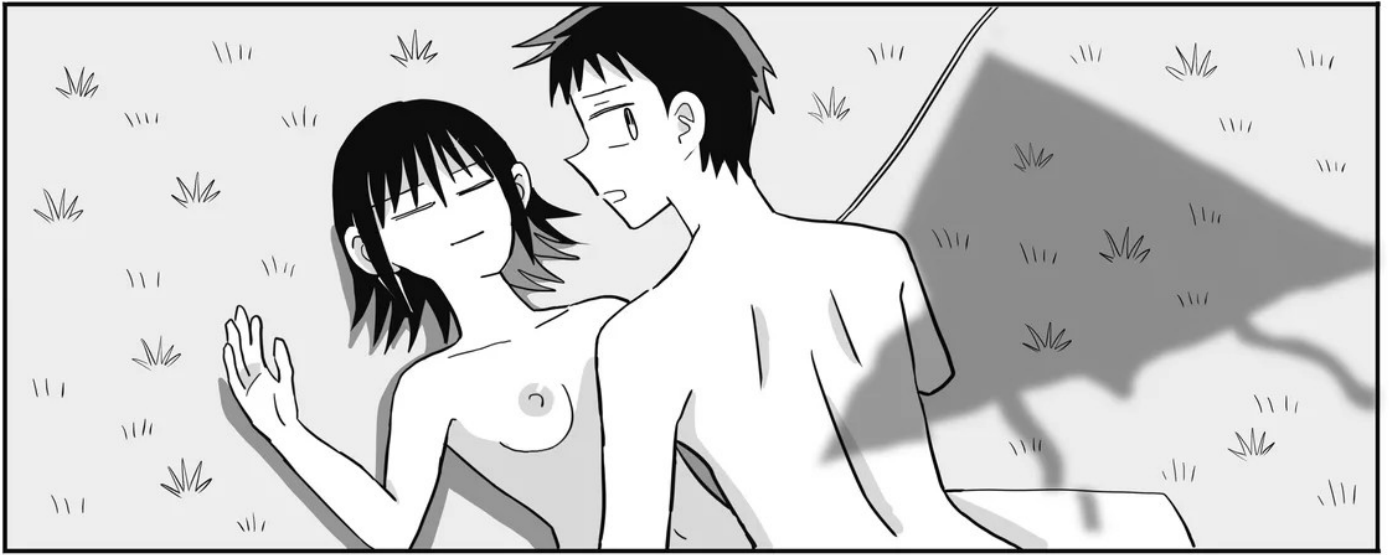


私のタイプ
なので

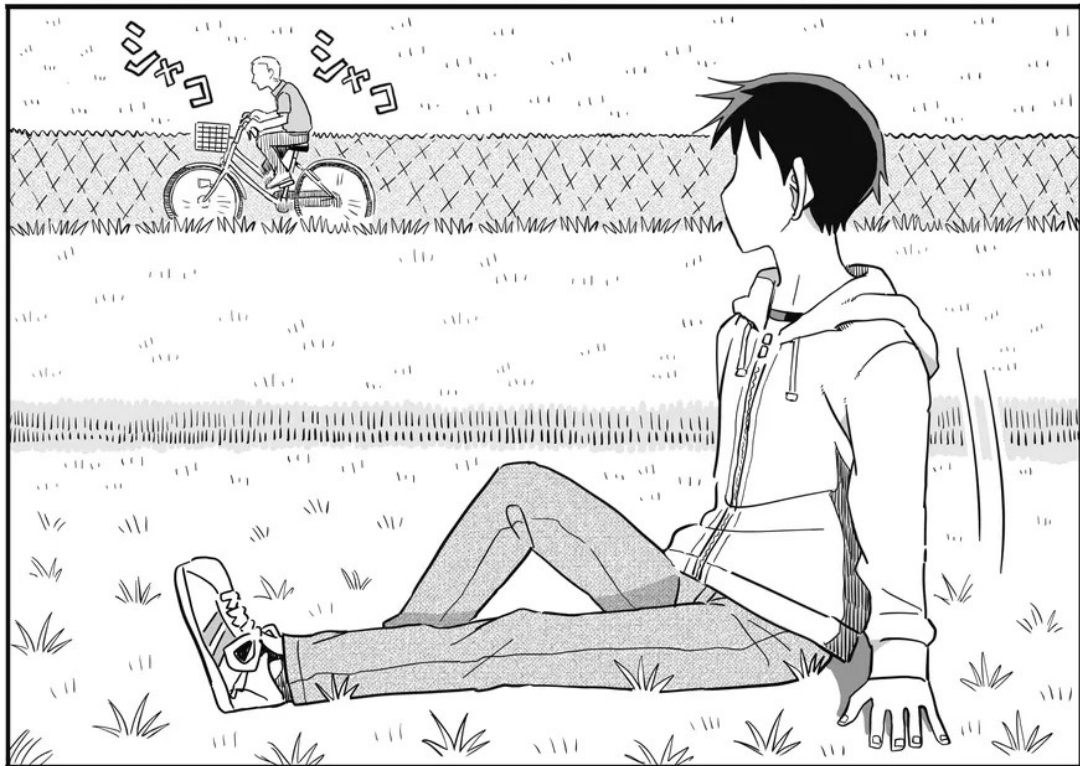
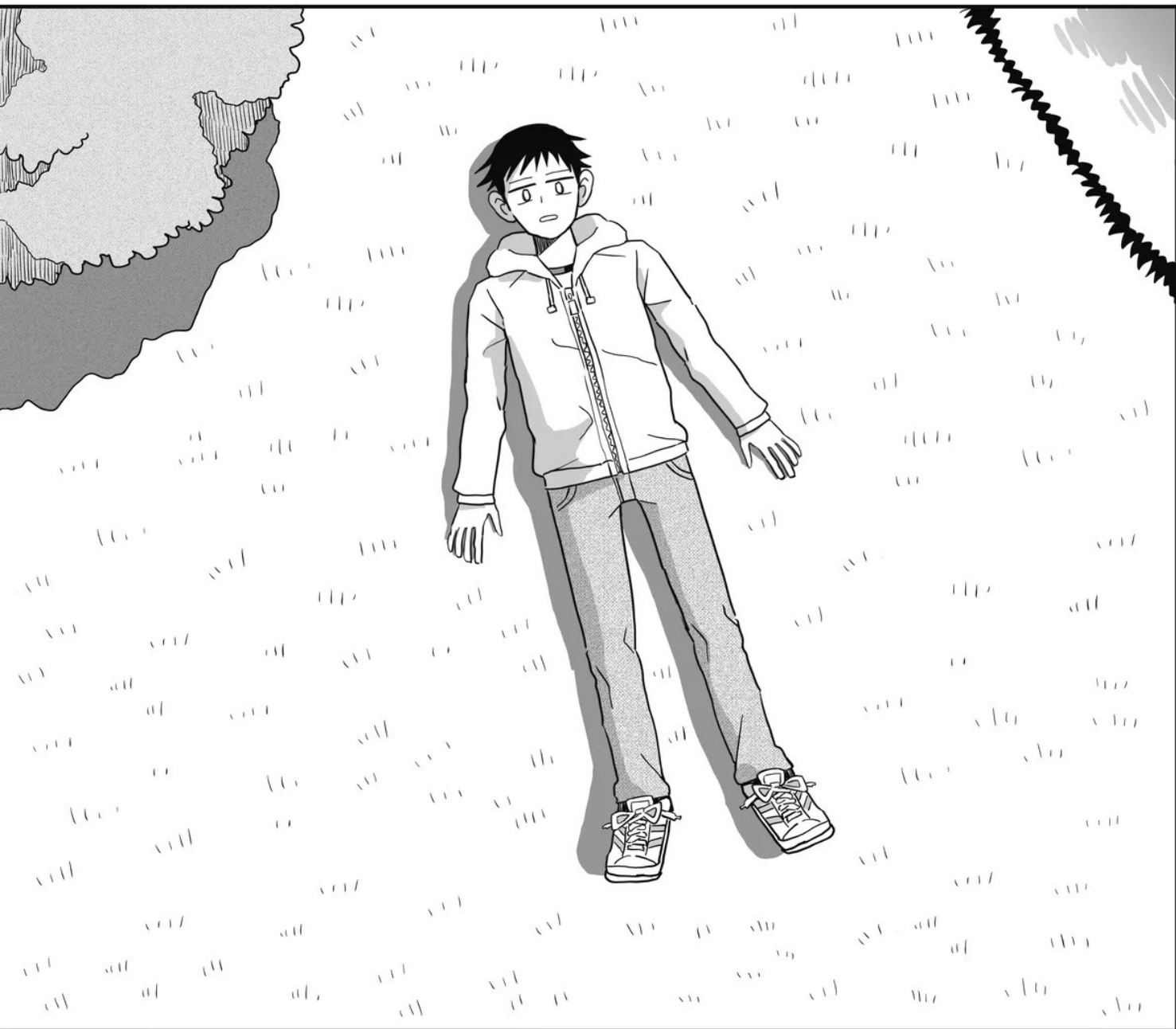


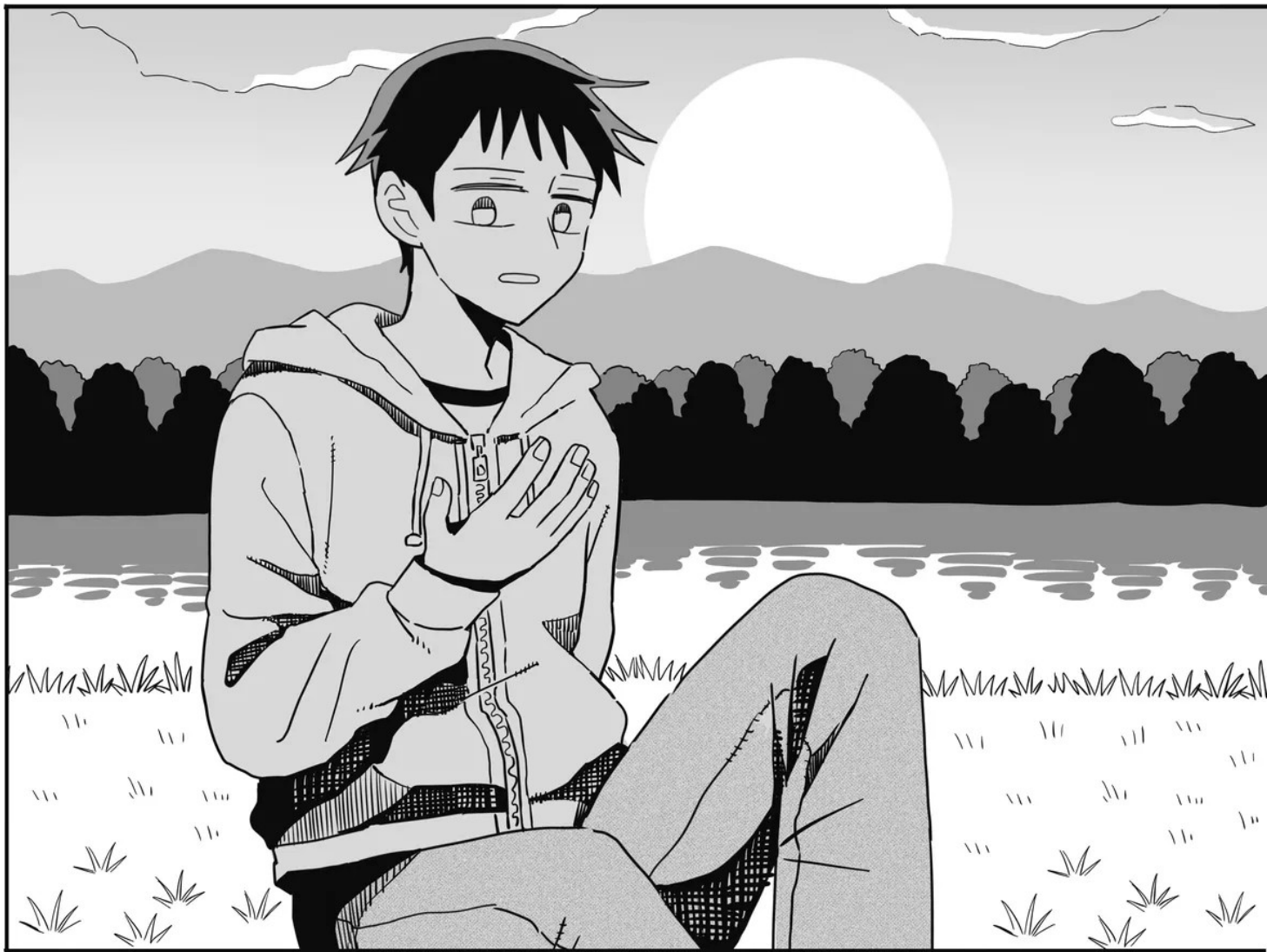
風...

この人を
戻して









おわり



Tako

発行日 2026年2月

著者 沼田水園

X <https://twitter.com/hirota249>

Pixiv <https://www.pixiv.net/users/176292>

本作の無断転載・複写・Web上へのアップロードは止めよう。